

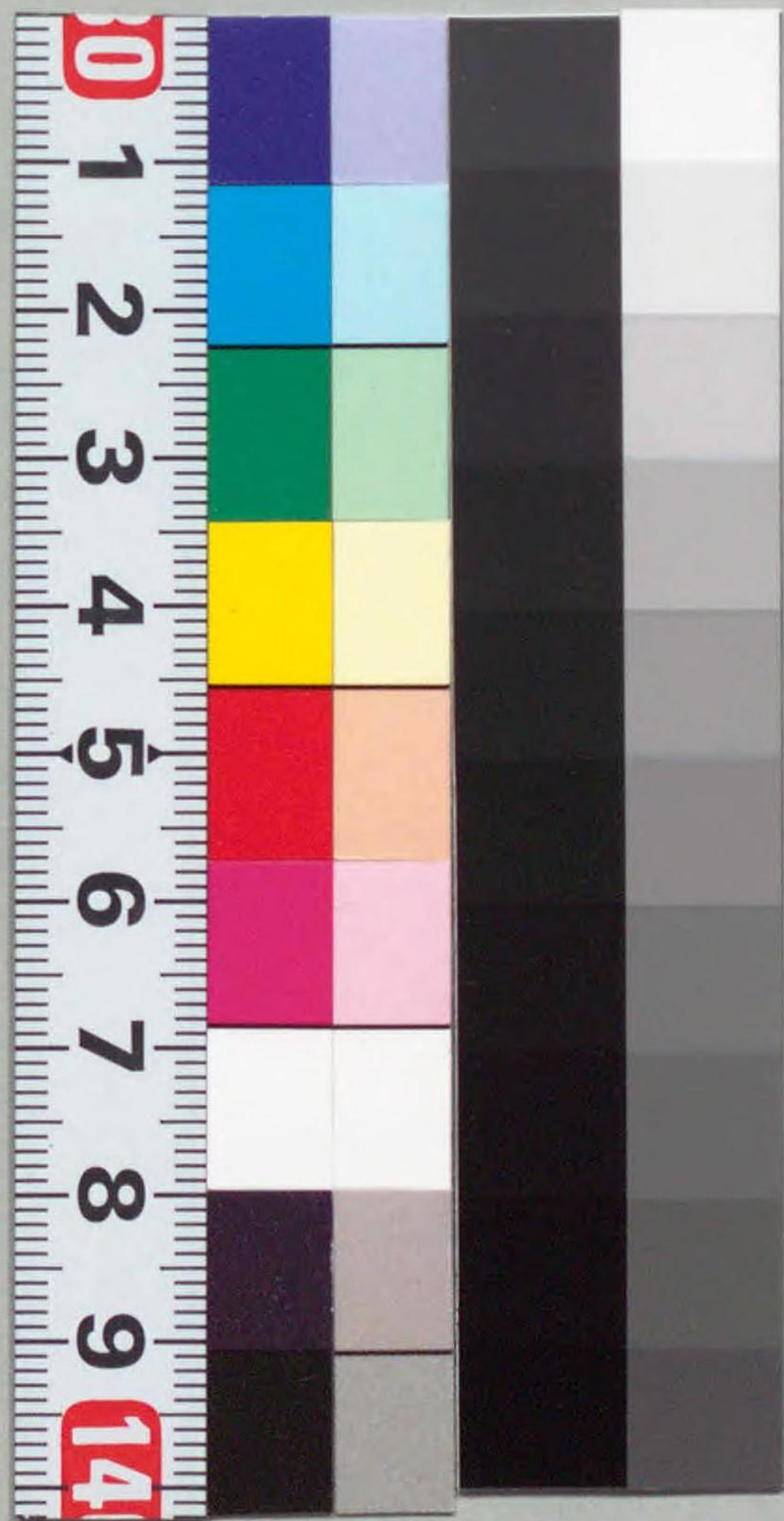
BZ-1-11



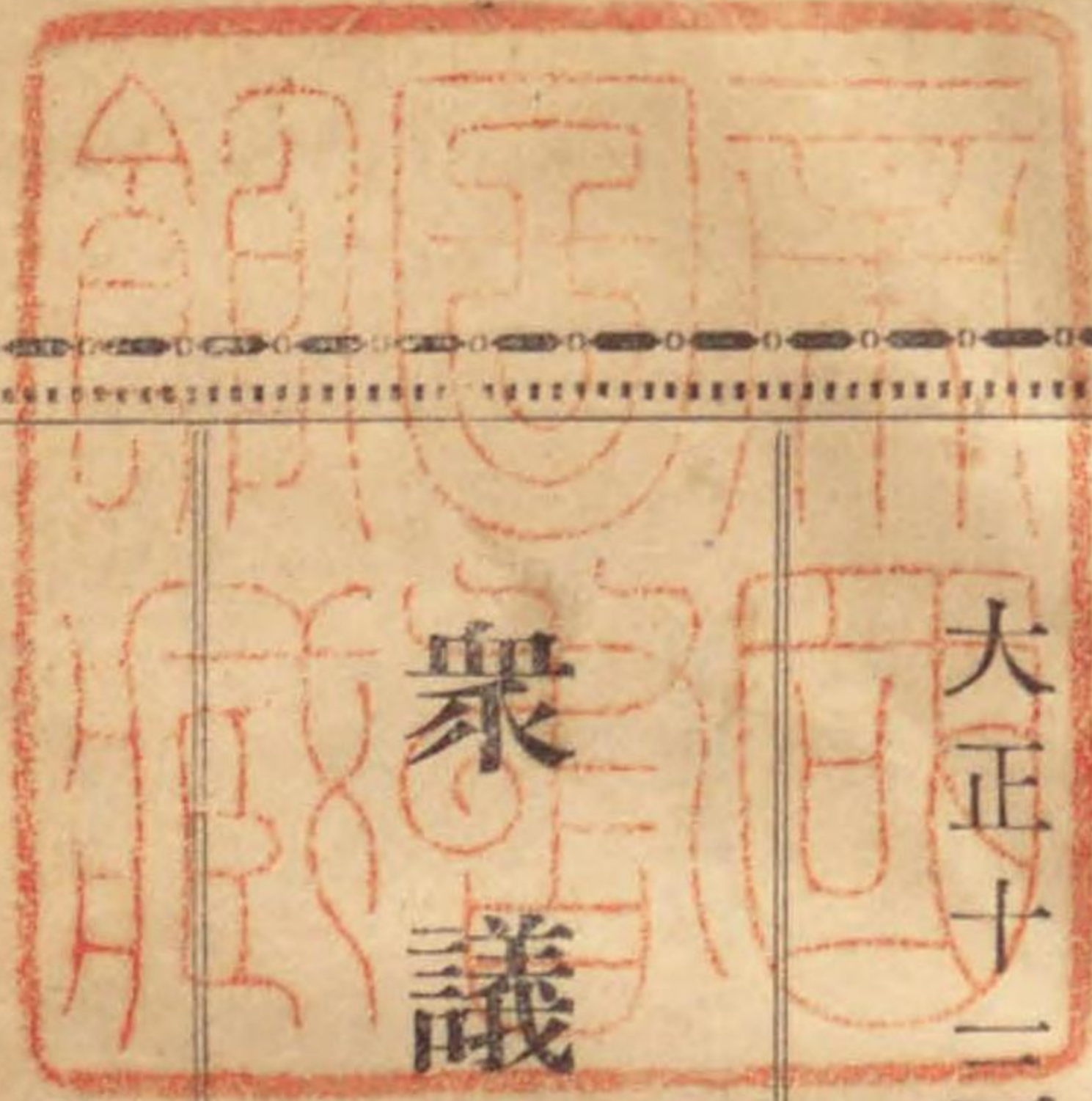
1200700978444



參議院要覽







大正十二年六月

衆議院要覽

衆議院事務局

大正
13. 6. 28
内文



凡例

- 一 本書ハ大正十三年六月十八日調議員ノ氏名及履歴ヲ輯録ス
- 一 履歴事項ハ出生地、學歷及業務ノ梗概ヲ録スルニ止ム
- 一 本書ハ第四十九回議會召集當日ヨリノ便ニ供スル爲假ニ印刷ニ附セリ其ノ完璧ハ之ヲ後日ニ讓ル

大正十三年六月

衆議院事務局



71-377n

衆議院要覽

(乙) 假刷

目次

議員いろは別氏名

附 履 歴 索 引

議 員 ノ 履 歴

附書記官長以下職員履歴

議員府縣及選舉區別氏名

目次

大正十二年六月

衆議院要覽

編輯者 衆議院事務局

印刷者 印刷局

發行所 衆議院事務局

代售處 各書局

定價 〃

本誌は、大正十二年六月十八日開始刊行し、毎月一冊を發行する。其の編輯は、衆議院事務局の編輯部が担当する。其の印刷は、印刷局が担当する。其の發行は、衆議院事務局が担当する。其の代售處は、各書局である。其の定價は、〃である。

服部 英明
原 惣兵衛
原 脩次郎
原 夫次郎
原 藤次郎
原 田佐之治
原 田 十衛
早 速 整 爾
林 田 龜 太 郎
濱 田 國 松
濱 田 精 藏
濱 口 吉 兵 衛

二二
二一
二二
二二
二三
二四
二四
二五
二五
二六
二六

濱 口 雄 幸
橋 本 喜 造
坂 東 幸 太 郎
に
西 英 太 郎
西 岡 竹 次 郎
西 方 利 馬
西 村 丹 治 郎
西 澤 定 吉
ほ
堀 田 義 次 郎
堀 喜 二 幸

二七
二七
二八
二八
二九
二九
三〇
三〇
三一
三一

岩 崎 勳
岩 切 重 雄
板 野 友 造
磯 部 尙
磯 部 保 次
禱 苗 代
生 田 和 平
今 井 健 彦
今 里 準 太 郎
池 田 龜 治
池 田 泰 親
石 井 謹 吾

一五
一四
一四
一三
一三
一二
一二
一一
一一
一〇
一〇
九

石 井 三 郎
石 原 正 太 郎
石 川 安 次 郎
石 塚 三 郎
石 黑 大 次 郎
石 坂 豐 一
は
土 生 正 彰
馬 場 義 興
鳩 山 一 郎
八 田 宗 吉
秦 豐 助

一五
一六
一六
一七
一七
一八
一八
一九
一九
二〇
二〇

小川郷太郎	小野重行	小野寅吉	小野義一	尾崎行雄	折原巳一郎	大石大	大濱忠三郎	大岡育造	大竹謙治	大園榮三郎	大津淳一郎
四二	四二	四三	四三	四四	四四	四五	四五	四六	四六	四七	四七

大内暢三	大口喜六	大里廣次郎	大島要三	太田信治郎	岡部次郎	岡田忠彦	岡田伊太郎	岡崎邦輔	岡本實太郎
四八	四八	四九	五〇	五〇	五一	五一	五二	五二	五三

と

堀切善兵衛	細梅三郎	傍士定治	星廉平	星島二郎	本田義成	本多貞次郎	ノ部	戸田由美	戸澤民十郎	土井權大	土居通憲
三二	三二	三三	三三	三四	三四	三五	三五	三五	三六	三六	三七

東郷實	床次竹二郎	富田愿之助	富永孝太郎	ノ部	千葉宮次郎	中馬興丸	陣軍吉	ぬ	沼田嘉一郎	ノ部	小川平吉
三七	三八	三八	三九	三九	三九	四〇	四〇	四一	四一	四一	四一

神谷彌平	神村吉郎	笠原忠造	兼松寅太郎	兼田秀雄	金光庸夫	金澤安之助	金田平兵衛	片岡直温	河崎清	河崎助太郎	河上哲太
七〇	七〇	六九	六九	六八	六八	六七	六七	六六	六六	六五	六五

よ

吉原義雄	横山金太郎	横山一格	横山勝太郎	横田千之助	米原於菟男	ノ部	粕谷義三	柏田忠一	神崎勳	神田正雄	神部爲藏
七六	七五	七五	七四	七四	七三		七三	七二	七二	七一	七一

か

加藤知正	ノ部	鷺野米太郎	渡邊祐策	渡邊伍	若宮貞夫	若尾璋八	若尾幾太郎	ノ部	長田桃藏	奥野小四郎	奥村千藏
五八		五八	五七	五七	五六	五六	五五		五五	五四	五四

わ

河波荒次郎	川崎克	川崎安之助	川口義久	川原茂輔	海原清平	加藤十四郎	加藤六藏	加藤鯛一	加藤鏢五郎	加藤久米四郎	加藤政之助
六四	六四	六三	六三	六二	六二	六一	六一	六〇	六〇	五九	五九

高木正年	高木益太郎	高山長幸	高草美代藏	高田耘平	高鳥順作	高橋熊次郎	高橋是清	高橋元四郎	高橋光威	高井商二	俵孫一
九三	九三	九二	九二	九一	九一	九〇	九〇	八九	八九	八八	八八

瀧増庸一	丹下茂十郎	建部遜吾	武内作平	武富濟	竹内友治郎	竹原樸一	頼母木桂吉	高島兵吉	高見之通	高木第四郎	高木音藏
九九	九九	九八	九八	九七	九七	九六	九六	九五	九五	九四	九四

七

田中讓	田邊七六	太宰孫九	ノ部	吉木陽	吉松忠敬	吉植庄一郎	吉村伊助	吉津度	吉田磯吉	吉田眞策	吉川吉郎兵衛
八一	八一	八〇		八〇	七九	七九	七八	七八	七七	七七	七六

谷口源十郎	谷口宇右衛門	谷原公	多木久米次郎	田崎信藏	田淵豊吉	田口文次	田中定吉	田中隆三	田中善立	田中武雄	田中萬逸
八七	八七	八六	八六	八五	八五	八四	八四	八三	八三	八二	八二

つ

津崎尙武	一〇〇
土屋興	一〇〇
土屋清三郎	一〇〇
筒井民次郎	一〇〇
堤清六	一〇〇
堤康次郎	一〇〇
なノ部	一〇〇
成田榮信	一〇〇
中原徳太郎	一〇〇
中林友信	一〇〇
中村貞吉	一〇〇

二三

む

永井柳太郎	一一一
永井作次	一一一
永田善三郎	一一二
永田新之允	一一二
長岡外史	一一三
長峰與一	一一三
ノ部	一一四
武藤山治	一一四
武藤金吉	一一四
武藤嘉門	一一五
室木彌次郎	一一五
向井倭雄	一一六

う

村上國吉	一一六
村上紋四郎	一一七
村山喜一郎	一一七
ノ部	一一八
内ヶ崎作三郎	一一八
内田信也	一一八
内野辰次郎	一一九
浦野謙朗	一一九
浦山助太郎	一二〇
生方大吉	一二〇
上原好雄	一二一
上埜安太郎	一二一

八木逸郎	一三二
八並武治	一三三
矢野鉉吉	一三三
山田又司	一三四
山田助作	一三四
山田道兄	一三五
山内範造	一三五
山口義一	一三六
山口左一	一三六
山口政二	一三七
山口恒太郎	一三七
山榊儀重	一三八

ま

山崎達之輔	一三八
山道襄一	一三九
山宮藤吉	一三九
山下谷次	一四〇
山本芳治	一四〇
山本悌二郎	一四一
山本勝次	一四一
山本慎平	一四二
山本糸太郎	一四二
山本厚三	一四三
町田忠治	一四三

く

工藤十三雄	一二六
工藤鐵男	一二六
ノ部	
則元由庸	一二五
野村嘉六	一二五
野村治三郎	一二四
野田卯太郎	一二四
野田俊作	一二三
のノ部	
梅田寛一	一二三
植場平	一二二
植原悦二郎	一二二

や

畔田明	一二七
黒田重兵衛	一二七
黒住成章	一二八
栗林五朔	一二八
栗延敬太郎	一二九
來栖七郎	一二九
倉元要一	一三〇
藏園三四郎	一三〇
熊谷巖	一三一
熊谷直太	一三一
熊谷五右衛門	一三二
ノ部	

麓純義	福田五郎	福井甚三	二木洵	深井功	古屋慶隆	古川清	降旗元太郎	藤澤幾之輔	藤澤萬九郎	藤田包助	藤田胸太郎
一六一	一六〇	一六〇	一五九	一五九	一五八	一五八	一五七	一五七	一五六	一五六	一五五

小山松壽	小屋光雄	小久保喜七	小西和	小橋一太	小橋藻三衛	小林彌七	小池仁郎	小泉辰之助	小泉策太郎	小泉又次郎	二ノ部
一六六	一六六	一六五	一六五	一六四	一六四	一六三	一六三	一六二	一六二	一六一	

松本君平	松本眞平	松實喜代太	松山常次郎	松山兼三郎	松浦五兵衛	松田源治	松田三徳	松井郡治	丸山浪彌	丸山五郎	町野武馬
一四九	一四九	一四八	一四八	一四七	一四七	一四六	一四六	一四五	一四五	一四四	一四四

藤川清助	藤井敬慎	藤井忠兵衛	ノ部	増田義一	牧山耕藏	牧野良三	前野芳造	前田兼寶	前田房之助	前田米藏	松本忠雄
一五五	一五四	一五四		一五三	一五三	一五二	一五二	一五一	一五一	一五〇	一五〇

河野	河野	兒玉	古島	古林	古林	木暮	木檜	小島	小島	小島	小寺
野	野	右	一	喜	新	正	三四	七	善	證	謙
曉	義	二	雄	代	治	一	郎	郎	作	作	吉
一七二	一七二	一七一	一七一	一七〇	一七〇	一六九	一六九	一六八	一六八	一六七	一六七

あ		て	
阿由	安藤	安達	安保
葉勝	正純	謙藏	庸三
作	純	藏	三
一七七	一七七	一七六	一七六
寺島	寺田	手塚	手代
權藏	市正	正次	木隆
一七五	一七五	一七四	吉
ノ部	ノ部	ノ部	ノ部
近藤	紺野	近藤	紺野
重三郎	九右衛門	重三郎	九右衛門
一七三	一七三	一七三	一七三

淺川	淺賀	荒川	荒井	東	赤間	青木	青木	青柳	青山	有馬	蟻川
川	長兵衛	五郎	建三	武	嘉之吉	知四郎	精一	郁次郎	憲三	頼寧	五郎作
浩	衛	郎	三	吉	之	四	一	郎	三	寧	作
一八三	一八三	一八二	一八二	一八一	一八一	一八〇	一八〇	一七九	一七九	一七八	一七八

さ	
秋田	秋田
寅之介	寅之介
一八四	一八四
ノ部	ノ部
佐藤	佐藤
富十郎	富十郎
一八五	一八五
佐藤	佐藤
球三郎	球三郎
一八六	一八六
佐藤	佐藤
潤象	潤象
一八六	一八六
佐藤	佐藤
重遠	重遠
一八七	一八七
佐竹	佐竹
庄七	庄七
一八七	一八七
佐々木	佐々木
文一	文一
一八八	一八八
佐々木	佐々木
春作	春作
一八八	一八八
佐々木	佐々木
長治	長治
一八九	一八九

第一編 議員いろは別氏名附履歴索引

佐々木	平次郎	一八九
齋藤	隆夫	一九〇
齋藤	珪次	一九〇
齋藤	太兵衛	一九一
齋藤	藤四郎	一九一
齋藤	仁太郎	一九二
齋藤	金吾	一九二
齋藤	真三郎	一九三
澤田	利吉	一九三
坂井	大輔	一九四
坂梨	哲	一九四
榊原	經武	一九五

榊浦	勝人	二〇六
宮崎	三之助	二〇六
宮崎	友太郎	二〇七
宮崎	松次郎	二〇七
宮島	幹之助	二〇八
宮本	逸三	二〇八
志波	安一郎	二〇九
志賀	和多利	二〇九
志村	清右衛門	二一〇
鹽田	團平	二一〇
信太	儀右衛門	二一一
榊田	清兵衛	一九五
作間	耕逸	一九六
柵瀬	軍之佐	一九六
櫻内	幸雄	一九七
木戸	豐吉	一九七
木村	政次郎	一九八
木村	小左衛門	一九八
木下	謙次郎	一九九
吉良	元夫	一九九
宜保	成晴	二〇〇
清瀬	一郎	二〇〇

菊池	謙二郎	二〇一
岸本	賀昌	二〇一
ノ部		
由谷	義治	二〇二
湯淺	凡平	二〇二
ノ部		
三輪	市太郎	二〇三
三好	榮次郎	二〇三
三善	清之	二〇四
三土	忠造	二〇四
三木	武吉	二〇五
三橋	四郎次	二〇五

箕浦	勝人	二〇六
宮崎	三之助	二〇六
宮崎	友太郎	二〇七
宮崎	松次郎	二〇七
宮島	幹之助	二〇八
宮本	逸三	二〇八
志波	安一郎	二〇九
志賀	和多利	二〇九
志村	清右衛門	二一〇
鹽田	團平	二一〇
信太	儀右衛門	二一一

第一編 議員いろは別氏名附履歴索引

ひ

ノ部

嶋居哲 二二一
 島本信二 二二二
 重松重治 二二二
 清水留三郎 二二三
 清水市太郎 二二三
 清水長郷 二二四
 下岡忠治 二二四
 下元鹿之助 二二五
 比佐昌平 二二五
 樋口秀雄 二二六
 廣岡宇一郎 二二六

も

ノ部

廣瀨徳藏 二二七
 廣瀨爲久 二二七
 東幸治 二二八
 平井光三郎 二二八
 平沼亮三 二二九
 平川松太郎 二二九
 平田民之助 二二〇
 平野光雄 二二〇
 元田肇 二二二
 望月小太郎 二二三
 望月圭介 二二三

せ

ノ部

森肇 二二二
 森 颯 二二三
 森田茂 二二三
 森田政義 二三四
 森田金藏 二三四
 栗山博 二三五
 瀬沼伊兵衛 二三五
 關直彦 二二六
 關和知 二二六
 關俊吉 二二七
 關矢孫一 二二七

す

ノ部

菅原傳 二二八
 菅原英伍 二二八
 菅村太事 二二九
 砂田重政 二二九
 杉宜陳 二三〇
 杉浦武雄 二三〇
 隅田豊吉 二三一
 鈴置倉次郎 二三一
 鈴木隆 二三二
 鈴木富士彌 二三二
 (おわり)

第一編 議員いろは別氏名附履歴索引

井上雅二

兵庫縣第六區選出、中正俱樂部所屬



井上虎治

兵庫縣第十區選出、政友本黨所屬



第一編 現在議員ノ履歷(いノ部)

明治九年六月丹波國氷上郡神樂村ニ生ル、海軍兵學校ニ學ヒ早稻田專門學校ヲ卒業ス、後塙國維那大學及獨國伯林大學ニ遊フ、「支那論」其他數多ノ著書アリ○財團法人東亞同文會幹事、韓國政府財務官、同宮内府書記官、遞信農商務各省囑託タリ、現ニ株式會社南亞公司取締役、海外興業株式會社長、スマトラ興業株式會社監査役、財團法人東亞同文會理事、南信協會專務理事、東洋協會評議員、南洋栽培聯合會幹事ニシテ又帝國經濟會議々員タリ○韓國ヨリ勳三等八封章ヲ贈ラル

明治九年六月兵庫縣飾西郡飾西村ニ生ル、○遞信省通信書記、姫路郵便局電信課長ニ任セラレ、又大阪商船株式會社員、同助役、合資會社臺灣組支配人、合名會社富島組總務理事トナル、歐米各國ヲ視察ス、現ニ株式會社富島組、日本海事工業株式會社、阪堺電鐵株式會社各取締役社長、網島土地株式會社、木津川運河土地株式會社各監査役、臺灣運輸株式會社、臺灣運送荷役株式會社各取締役タリ、又大阪商業會議所議員、大阪稅關貨物取扱人聯合會長、港灣協會評議員ニ舉ケラル

井上敬之助

滋賀縣第三區選出、立憲政友會所屬
勳四等、會社重役



慶應元年三月近江國甲賀郡石部村ニ生ル○滋賀縣會議員、同參
事會員、同議長ニ選ハル、道路會議々員被仰付○衆議院議員ニ
當選六回

井上孝哉

岐阜縣第五區選出、中正俱樂部所屬
從三位勳三等



明治三年十月美濃國本巢郡席田村ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業○土木監督署事務官、熊本縣參事官、滋賀縣警部長、神
奈川縣第四部長、警視總監官房主事、內務書記官、佐賀富山神
奈川各縣知事、大阪府知事、內務次官ニ歷任シ又東洋拓殖株式
會社理事事タリ現ニ臨時法制審議會委員、道路會議々員、鐵道會
議々員其ノ他諸種ノ調査會及委員會ノ委員ヲ兼ヌ○「エトアル、
ド、ルーマニ」第二等勳章、清國三等第一双龍寶星受領○衆
議院議員ニ當選二回

井上利八

廣島縣第四區選出、革新俱樂部所屬
會社員



慶應二年十一月備後國沼隈郡水呑村ニ生ル○鐵道院技手タリ、
又廣島縣會議員、同議長ニ擧ケラル、鐵道工事請負業ニ從事ス、
現ニ輕便鐵道株式會社專務取締役タリ

井口延次郎

三重縣第二區選出、政友本黨所屬
會社員



明治十五年一月四日市市ニ生ル、國民英學會ニ學フ○東京貿易
商薩摩商會員トナル、後井口汽船部合資會社、彌彥商會、東京
海運株式會社ヲ設立シ海運業ニ從事ス、現ニ東京海運株式會社、
朝日海陸運輸株式會社、東洋耐火煉瓦株式會社各取締役タリ

井出繁三郎

秋田縣第五區選出、政友本黨所屬
正四位勳三等



元治元年十月羽後國由利郡本莊町ニ生ル、東京帝國大學法科大

學卒業○鐵道省監督局長ニ任セラ

井坂豐光

大阪府第十一區選出、政友本黨所屬
辯護士



明治十四年十二月和泉國泉南郡八木村ニ生ル、京都帝國大學法

科大學卒業○現ニ帝國護謨製造株式會社取締役、尻ヶ崎城内土

地株式會社監査役タリ○衆議院議員ニ當選二回

井本常作

群馬縣第六區選出、憲政會所屬
辯護士



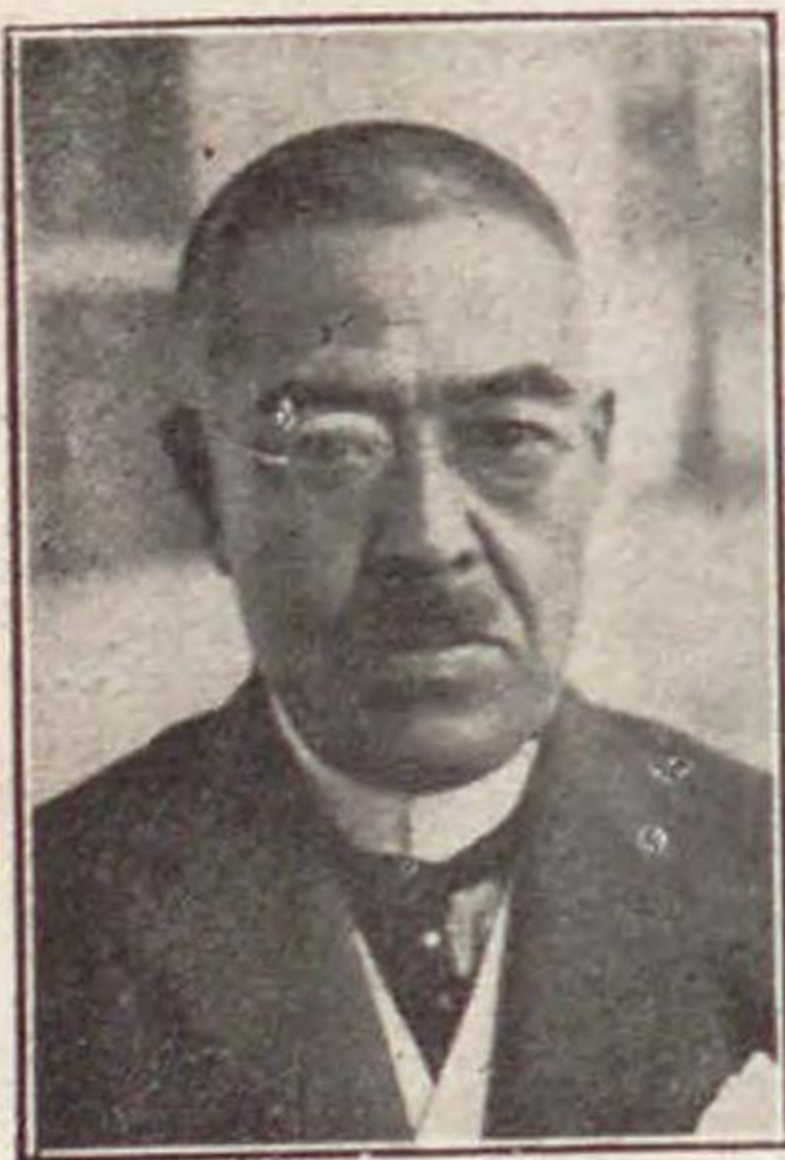
明治十三年四月上野國多野郡神流村ニ生ル、明治大學卒業○司

法官試補ニ任セラ、又東京市本郷區學務委員、同委員長、本

郷區教育會商議員ニ舉ケラル

伊坂秀五郎

三重縣第五區選出、政友本黨所屬



明治十一年十二月伊勢國河藝郡若松村ニ生ル、經濟學會卒業○

三重縣會議員、同參事會員、同副議長、同議長ニ選ハル、又伊

勢鐵道會社專務取締役ニ舉ケラル○衆議院議員ニ當選二回

伊澤平左衛門

宮城縣第一區選出、立憲政友會所屬
酒造業



文久二年十一月仙臺市ニ生ル○仙臺市會議員、同參事會員ニ舉ケラル、現ニ仙臺市會議員、仙臺商業會議所會頭等ノ公職ニアリ、又宮城殖林株式會社長、宮城貯蓄銀行、五城銀行各頭取タリ○第二高等學校敷地寄附ノ廉ニ依リ紺綬褒章ヲ賜ハル、○衆議院議員ニ當選二回

猪野毛利榮

福井縣第二區選出
會社重役



明治十九年一月福井縣大野郡富田村ニ生ル、日本大學卒業○二六新聞記者タリ、現ニ日本大學評議員、經國社長ニシテ又二三會社ノ重役タリ

飯塚春太郎

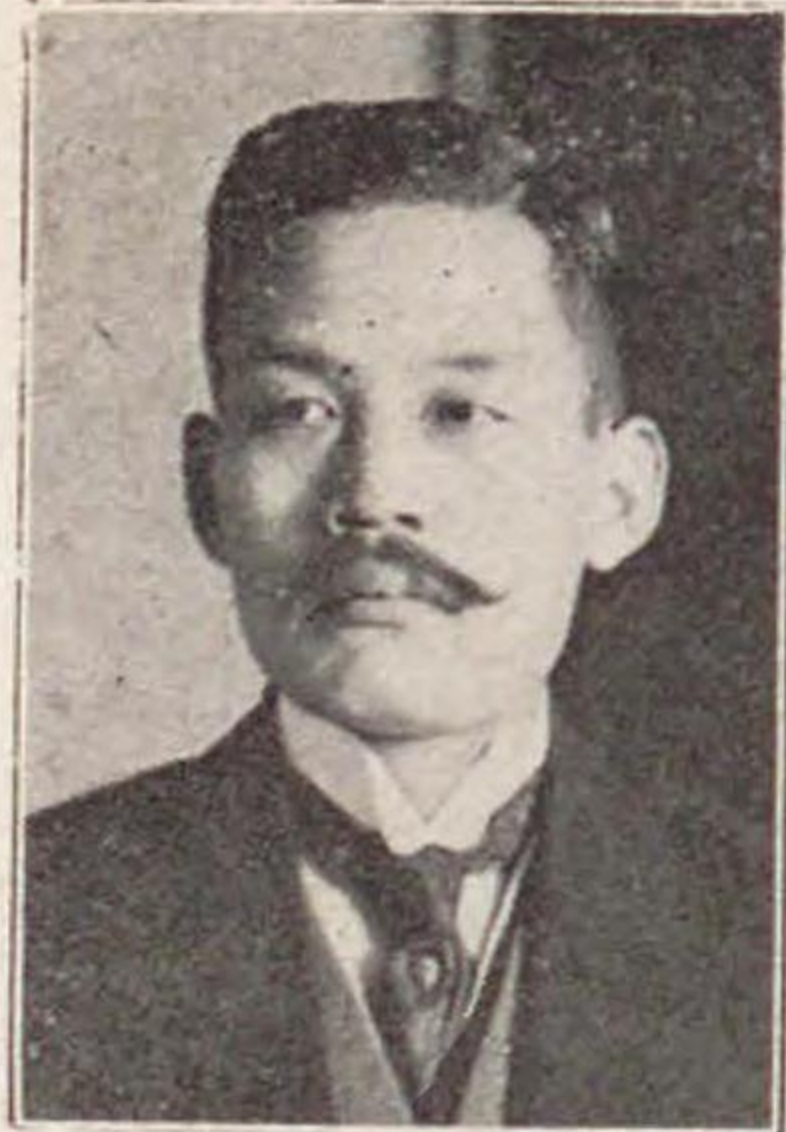
群馬縣第三區選出、憲政會所屬
輸出織物製造業



慶應元年一月上野國山田郡廣澤村ニ生ル、東京法學院卒業○群馬縣會議員ニ舉ケラル、又桐生織物同業組合長ニ選ハル、渡良瀬水電株式會社、日本絹撚株式會社其他數會社ノ重役トナル○現ニ兩毛整織株式會社取締役タリ、多年輸出織物製造業ヲ經營ス、再度歐洲各國支那印度ヲ視察ス○實業精勵ノ廉ニ依リ綠綬褒章ヲ賜ハル○衆議院議員ニ當選二回

飯村五郎

茨城縣第八區選出、立憲政友會所屬
正八位、辯護士



明治二十一年四月常陸國筑波郡眞瀬村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、辯護士業ニ從事ス

一柳 仲次郎

北海道廳第一區選出、憲政會所屬
貿易商



明治元年十月尾張國知多郡成岩村ニ生ル○札幌區會議員、北海道會議員、同議長、札幌商業會議所議員、同副會頭ニ選ハル、又日露貿易商組合長、北海道果實蔬菜輸出商同業組合長、北海道拓殖倉庫株式會社取締役、北海道信託株式會社、一柳產物株式會社、北海漁網船具株式會社ノ各社長トナル、現ニ合資會社一柳商會代表社員タリ、又多年海外貿易業ニ從事ス○衆議院議員ニ當選二回

犬 養 毅

岡山縣第四區選出、革新俱樂部所屬
正三位勳一等、官吏



安政二年四月備中國吉備郡庭瀨町ニ生ル、慶應義塾卒業○東海經濟新報、報知新聞、朝野新聞、民報ニ各記者ト爲ル、東洋經濟雜誌ヲ發刊ス、東京府會議員、同常置委員ニ舉ケラル、又統計權少書記官ト爲ル、後文部大臣、遞信大臣ニ任セラル、又臨時外交調査委員會委員被仰付特ニ國務大臣ノ禮遇ヲ賜ハル、現ニ遞信大臣タリ○衆議院議員ニ當選十五回

岩 崎 幸治郎

大阪府第八區選出、立憲政友會所屬
從六位勳四等、辯護士



明治七年四月河内國中河内郡英田村ニ生ル、獨逸ニ遊學シ「ラ イブチツヒ」大學ヨリ法律博士ノ學位ヲ受ク○横濱地方裁判所判事、東京控訴院判事、拓殖局總裁秘書官ニ歷任ス、又關西大學講師ト爲ル○衆議院議員ニ當選三回

岩 崎 勳

靜岡縣第五區選出、立憲政友會所屬
勳四等、辯護士



明治十一年二月駿河國駿東郡清水村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業、文官高等試驗及第○曩ニ屢々東京辯護士會常議員、日本辯護士協會理事ニ舉ケラル○衆議院議員ニ當選四回

岩切重雄

鹿兒島縣第二區選出、政友本黨所屬
從五位



明治廿一年一月鹿兒島市ニ生ル、東京帝國大學法科卒業○曩ニ
鳥取縣屬、同警視、鹿兒島市助役、大藏大臣祕書官タリ○衆議
院議員ニ當選二回

板野友造

大阪府第一區選出、革新俱樂部所屬
辯護士



明治七年五月備中國吉備郡足守町ニ生ル、關西法律學校ヲ卒業
シ、明治法律學校ニ學フ○司法官試補ニ任セラレ後辯護士タリ、
又大阪市會議員、同副議長ニ舉ケラル、現ニ勞働保險調査會委
員タリ○衆議院議員ニ當選三回

磯部尙

東京府第六區選出、立憲政友會所屬
辯護士



明治八年十一月福井市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○道
路會議々員、復興院評議員會評議員トナル、現ニ東京市會議員、
臨時大都市制度調査委員、特別都市計畫委員會委員タリ○衆議
院議員ニ當選二回

磯部保次

茨城縣第七區選出、中正俱樂部所屬
會社員



明治元年七月常陸國西茨城郡笠間町ニ生ル、慶應義塾卒業○東
京電車鐵道株式會社、東京鐵道株式會社各取締役、東京瓦斯株
式會社常務取締役トナル、現ニ三ツ引商事株式會社專務取締役
タリ○衆議院議員ニ當選二回

第一編 現在議員ノ履歷(いの部)

禱苗代

鹿兒島縣第八區選出、政友本黨所屬
辯護士



明治九年十二月大隅國大島郡龍鄉村ニ生ル、日本大學卒業○沖繩縣國頭郡小學校長、東京市東洋小學校長ニ任セラル、又司法官試補ヲ命セラル○衆議院議員ニ當選二回

生田和平

德島縣第四區選出、立憲政友會所屬
製絲業



明治十年四月阿波國名西郡石井町ニ生ル○縣會議員ニ擧ケラル又德島水力電氣株式會社社長、阿波共同製絲株式會社社長タリ、現ニ德島縣繭絲同業組合長、大日本蠶糸會評議員、阿南鐵道株式會社社長、四國生糸株式會社取締役タリ○衆議院議員ニ當選二回

今井健彦

千葉縣第四區選出、立憲政友會所屬



明治十六年七月遠江國榛原郡初倉村ニ生ル○中央新聞記者、中外商業新報記者タリ、現ニ福井日報社長タリ

今里準太郎

長崎縣第三區選出、中正俱樂部所屬
正八位、農牧業



明治十九年十一月肥前國東彼杵郡萱瀬村ニ生ル、早稻田大學卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、又新聞記者タリ

第一編 現在議員ノ履歷(いの部)

池田 龜 治
秋田縣第七區選出、政友本黨所屬
農、銀行業



池田 泰 親
熊本縣第七區選出、政友本黨所屬
正八位勳六等、農



慶應三年六月羽後國仙北郡刈和野町ニ生ル○町會議員、郡會議員、縣會議員、同參事會員ニ擧ケラル現ニ秋田縣農會長、帝國農會議員ニシテ又秋田貯蓄銀行取締役、池田銀行代表社員タリ
○衆議院議員ニ當選三回

石井 謹 吾
埼玉縣第五區選出、立憲政友會所屬
正六位、辯護士



明治十年十月武藏國北埼玉郡新鄉村ニ生ル、東京法學院卒業、外遊二回、「憲政俗論」、「滿鮮支那游記」、「歐亞港政資料」ノ著書アリ○司法官試補、內務屬、奈良、滋賀、各縣事務官、神奈川縣事務官港務部長、秋田群馬各縣內務部長タリ、米國開僱幼年者保護萬國會議ニ委員トシテ參列被仰付、又官命ニ依リ再度歐米各國ヲ視察ス、現ニ東印拓殖株式會社、內洋興業株式會社ノ各社長タリ○伊太利國ヨリ王冠四等勳章、和蘭國ヨリ「オランダ」ニヤナツソア」四等勳章ヲ受ク

石井 三 郎
茨城縣第四區選出、立憲政友會所屬



明治十三年二月常陸國久慈郡久米村ニ生ル、中央大學ニ學フ○銀行業ニ從事シ後大藏省囑託ト爲ル、西伯利及南北滿洲ヲ漫遊ス、對外同志會ヲ組織シ現ニ其ノ主幹タリ、又皇道義會總務タリ○衆議院議員ニ當選二回

第一編 現在議員ノ履歷(いノ部)

石原正太郎

富山縣第六區選出、政友本黨所屬
農



明治十一年二月越中國婦負郡百塚村ニ生ル、東京高等商業學校卒業○現ニ北陸送電株式會社、北陸汽船株式會社、樺太林業株式會社、日本電力株式會社、黒部鐵道株式會社其他數會社ノ重役タリ○衆議院議員ニ當選二回

石川安次郎

東京府第十三區選出、憲政會所屬
新聞記者



明治五年八月岡山市ニ生ル、慶應大學ニ學フ○庚寅新誌記者、中央新聞經濟部長、東京毎日新聞主幹、報知新聞編輯主任トナル、北京ニ駐在スルコト五年又屢々歐米列國ヲ歴遊ス、現ニ萬朝報記者タリ○白耳義國皇帝陛下ヨリ王冠勳章ヲ受ク

石塚三郎

新潟縣第五區選出、憲政會所屬
齒科醫



明治十年八月越後國北蒲原郡安田村ニ生ル、國語傳習所、早稻田東京專門學校、大成學館、高山齒科醫學院ニ學フ○長岡市會議員ニ舉ケラル、東京齒科醫學院講師タリ、又清國ニ遊フ、現ニ新潟縣齒科醫師會長、日本聯合齒科醫師會理事、東京齒科醫學專門學校評議員、新潟畜産株式會社取締役、石塚齒科病院長タリ

石黒大次郎

新潟縣第九區選出、憲政會所屬
農



明治十五年三月越後國刈羽郡中通村ニ生ル、早稻田大學卒業○郡會議員、縣會議員、縣參事會員ニ舉ケラル、又株式會社百三十九銀行支配人、株式會社柏崎米穀取引所理事タリ、現ニ刈羽郡農會副會長、新潟縣農會議員、株式會社百三十九銀行取締役タリ

石坂 豊一

富山縣第三區選出、中正俱樂部所屬
從五位勳四等



明治七年越中國中新川郡東加積村ニ生ル、同志社ニ學フ○富山縣ニ於テ郡書記、屬、事務官補、郡長、理事官ニ歷任ス、宮内省獵場官被仰付、又樺太廳事務官兼專賣局副參事、鐵道省囑託ニ任セラル

土生 彰

福井縣第四區選出、憲政會所屬
新聞記者



元治元年九月越前國南條郡武生町ニ生ル、福井縣師範學校卒業
○富山日報、福井新報、日刊新聞「福井」、若越新聞、福井新聞ニ各主筆タリ、武生町長トナル、福井縣地方教育會議々員ヲ命セラル、又福井市會議員、福井縣會議員ニ舉ケラル、現ニ福井新聞主筆タリ

馬場 義興

奈良縣第三區選出、革新俱樂部所屬
會社員



明治八年二月大和國磯城郡三宅村ニ生ル、上海日信貿易所ニ學フ○日本綿花株式會社取締役並監査役、東華紡績株式會社取締役トナル、又多年支那ニ在リテ貿易並紡績製油等ノ工業ニ從事ス、現ニ馬場合名會社代表社員、江戸堀土地建物株式會社取締役、臺灣肥料株式會社、湯崎溫泉土地株式會社各監査役、奈良安全索道株式會社々長タリ

鳩山 一郎

東京府第十區選出、政友本黨所屬
勳四等、辯護士



明治十六年一月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○東京市會議員、同副議長ニ舉ケラル、又都市計畫中央委員會委員被仰付、現ニ東京市會議員タリ○衆議院議員ニ當選四回

八田宗吉

福島縣第八區選出、立憲政友會所屬
正七位勳四等、農



秦 豐 助

埼玉縣第一區選出、立憲政友會所屬
從四位勳三等



服部英明

愛知縣第七區選出、憲政會所屬
辯護士



原 惣兵衛

兵庫縣第十一區選出、政友本黨所屬
辯護士



第一編 現在議員ノ履歷(はノ部)

明治七年十月岩代國河沼郡日橋村ニ生ル○陸軍歩兵大尉ニ任セラル、又村長、郡會議員、同參事會員、福島縣會議員、同參事會員、同縣河川道路調査會員、同縣地方森林會議員ト爲ル、又馬政委員會委員被仰付、現ニ日本化學工業株式會社取締役、會津育英會理事、福島縣農工銀行、會津電力株式會社各監查役タリ、馬政調査會委員被仰付○衆議院議員ニ當選三回

明治五年八月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○福井縣愛媛縣千葉縣神奈川縣各參事官、長崎縣事務官、秋田縣知事、德島縣知事、遞信次官ニ任セラル、中央統計委員會委員、道路會議々員、都市計畫中央委員會委員、軍需評議會評議員、臨時財政經濟調査會委員、臨時產業調査會委員、臨時治水調査會委員、國有財産調査會委員被仰付、白耳義國萬國博覽會ニ列席ス又支那朝鮮ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選四回

明治十二年三月尾張國中島郡祖父江村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○辯護士事務ニ從事ス

明治二十四年一月兵庫縣赤穂郡上郡町ニ生ル、日本大學卒業後獨逸「ベルリン」大學及「ミュンヘン」大學ニ學フ○日本大學幹事兼學生監ト爲ル、又在獨日本人會常任理事ニ舉ケラル

原 脩次郎

茨城縣第六區選出、憲政會所屬
正七位勳四等、會社員



明治四年五月丹波國何鹿郡綾部町ニ生ル、中央大學ニ學フ○臺南縣辨務署長、臺灣土地調查局事務官、臺灣總督府警視ニ歷任ス、現ニ鹽水港製糖株式會社監査役、花蓮港電氣株式會社々長、朝鮮皮革株式會社、花蓮港木材株式會社各取締役タリ○衆議院議員ニ當選四回

原 夫次郎

鳥根縣第三區選出、政友本黨所屬
正五位勳四等、辯護士



明治八年六月出雲國簸川郡檜山村ニ生ル、和佛法律學校卒業後佛國「グルノーブル」大學ニ學ヒ法學博士ノ學位ヲ受ケ又巴里法科大學院卒業○辯護士タリ、廣島地方裁判所判事、東京地方裁判所檢事、東京控訴院檢事、法制局參事官、司法省參事官、司法大臣祕書官、內閣總理大臣祕書官ニ任セラシ、又警察官練習所、司獄官練習所及大學數校ノ各講師タリ○中華民國ヨリ勳四等嘉禾章ヲ受ク○衆議院議員ニ當選二回

原田 藤次郎

青森縣第四區選出、政友本黨所屬
農



明治七年十月陸奧國西津輕郡森田村ニ生ル○青森縣農工銀行取締役ニ舉ケラル○衆議院議員ニ當選二回

原田 佐之治

德島縣第二區選出、政友本黨所屬
農、會社重役



明治七年三月阿波國名東郡國府町ニ生ル○村會議員、縣會議員、同議長ニ選ハル、又德島日々新聞社、德島毎日新聞社ノ重役ト爲ル、現ニ阿波農工銀行、德島倉庫株式會社各取締役、德島縣農政研究會々長、阿波藍同業組合會議長並評議員タリ○衆議院議員ニ當選三回

原田 十衛

熊本縣第六區選出、政友本黨所屬
正六位勳四等、會社重役



早 速 整 爾

廣島縣第一區選出、憲政會所屬
正五位勳三等、官吏



明治元年十月安藝國安佐郡三篠村ニ生ル、早稻田大學卒業○市
會議員、同議長、廣島縣會議員、同副議長、廣島商業會議所議
員、同會頭ニ選ハル、生産調査會委員、官業整理調査會委員、
經濟調査會委員被仰付、藝備日々新聞社長、山口瓦斯會社長、
廣島電氣會社、日清燐火會社各取締役ト爲ル、又海軍省參政官
ニ任セラル、現ニ鐵道次官タリ○衆議院議員ニ當選八回、曩ニ
衆議院副議長タリ

林田 龜 太郎

東京府第二區選出、革新俱樂部所屬
從三位勳二等、著述業



文久三年八月熊本市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○法制
局參事官、臨時帝國議會事務局書記官、衆議院書記官兼農商務
省參事官、衆議院書記官長ニ任セラル、又議院建築調査會委員
議院建築準備委員會委員、衆議院議員選舉法改正調査會委員被
仰付、又雜誌社長タリ、歐米各國ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選
二回

濱 田 國 松

三重縣第三區選出、革新俱樂部所屬
勳三等、辯護士



明治元年六月宇治山田市ニ生ル、三重縣師範學校、東京法學院
卒業○町會議員、郡會議員ニ選ハル、臨時教育行政調査會委員
被仰付、又神都瓦斯株式會社取締役タリ、歐米及朝鮮支那ヲ視
察ス○衆議院議員ニ當選七回、曩ニ衆議院副議長タリ

濱田 精藏

鹿兒島縣第七區選出、政友本黨所屬
會社員



明治十三年十二月大隅國始良郡加治木町ニ生ル、慶應義塾大學
卒業○時事新報記者、同倫敦特派員、千代田生命保險株式會社
員タリ、現ニ福岡市會議長、博多商業會議所副會頭ノ公職ニア
リ又西部合同瓦斯會社長、日本水電株式會社取締役タリ

濱口 吉兵衛

千葉縣第五區選出、政友本黨所屬
從七位勳四等、會社重役



明治元年七月紀伊國有田郡廣村ニ生ル、東京帝國大學法科大學
ニ學フ○陸軍歩兵中尉ニ任セラル、又日本橋區會議員ニ選ハル、
現ニ銚子醬油株式會社々長、豐國銀行監查役、第一相互保險會
社監查役タリ、臨時財政經濟調查會委員被仰付、歐米ヲ漫遊ス
○衆議院議員ニ當選二回

濱口 雄幸

高知縣第二區選出、憲政會所屬
從四位勳二等、官吏



明治三年四月土佐國長岡郡五臺山村ニ生ル、東京帝國大學法科
大學政治學科卒業○山形縣收稅長、司稅官、大藏省書記官兼大
藏省參事官、松山、熊本稅務管理局長、東京稅務監督局長、專
賣局部長、專賣局長官、遞信次官、大藏次官、大藏省參政官ニ
歷任ス、臨時財政經濟調查會委員、米穀委員會委員被仰付現ニ
大藏大臣タリ○衆議院議員ニ當選四回

橋本 喜造

長崎縣第四區選出、憲政會所屬
船泊業



明治五年十月大分縣中津ニ生ル、長崎商業學校及外國語學校卒
業、後海外ニ遊學スルコト數年○屢、佐世保市會議員、長崎縣會
議員ニ選ハル、現ニ港灣協會理事、日本船主協會理事、長崎縣
社會事業協會評議員、長崎新聞社長、橋本汽船株式會社長、佐
賀紡績株式會社長、株式會社堂島ビルヂング社長、日本タイプ
ライター株式會社長、國際汽船株式會社其他諸會社ノ重役タリ
○曩ニ綠綬褒章ヲ下賜セラル○衆議院議員ニ當選三回

第一編 現在議員ノ履歷(はノ部)

坂東幸太郎

北海道廳第四區選出、中正俱樂部所屬



明治十四年四月生ル○旭川區會議員、同學務委員、同區施設及財源調査臨時委員、旭川市會議員、同副議長、同議長ニ舉ケラレ現ニ其ノ議長タリ、又曩ニ旭川商業會議所書記長トナル

西 英太郎

佐賀縣第四區選出、憲政會所屬
勲四等、新聞社長



元治元年九月肥前國小城郡多久村ニ生ル、漢學及英學ヲ修ム○郡會議員、縣會議員、縣常置委員、縣參事會員ニ選ハル、佐賀縣農工銀行頭取、肥前電氣鐵道株式會社、唐津鐵道株式會社、高取鑛業株式會社各取締役タリ、現ニ佐賀毎日新聞社長、九州黨業株式會社長、株式會社唐津製鋼所監查役タリ○衆議院議員ニ當選四回

西岡竹次郎

長崎縣第一區選出、中正俱樂部所屬
雜誌記者



明治二十三年六月長崎市ニ生ル、早稻田大學法科卒業後英國「ロンドン」大學及「オックスフォード」ラスキン」大學ニ學フ○都新聞社員トナル、又雜誌「青年雄辯」ヲ創刊シ其ノ社長兼主筆トトナル

西方利馬

山形縣第四區選出、立憲政友會所屬
農



明治十六年三月羽前國東置賜郡中川村ニ生ル、東京攻玉社工學校及中央大學卒業

西村丹治郎

岡山縣第六區選出、革新俱樂部所屬
勳三等



慶應二年十月岡山縣吉備郡秦村ニ生ル、東京專門學校卒業、後
歐米ニ遊學シ政治經濟學ヲ修ム○新聞記者タルコト數年、臨時
國民經濟調查會委員、臨時治水調查委員會委員被仰付、列國議
會同盟會議ニ參列ス○衆議院議員ニ當選九回

西澤定吉

山形縣第三區選出、立憲政友會所屬
農



明治四年十一月羽前國西村山郡大谷村ニ生ル、宮城縣立農學校
及專修大學卒業○天童町長、山形縣會議員ニ舉ケラル、又天童
銀行支配人、天童製粉株式會社頭取ト爲ル○衆議院議員ニ當選
三回

堀 喜 幸

石川縣第二區選出、政友本黨所屬



明治元年六月加賀國石川郡鶴來町ニ生ル○石川郡會議員、石川
縣會議員ニ舉ケラル又石川鐵道株式會社取締役トナル、現ニ町
會議員、所得調査委員、地方森林會議員ノ公職ニアリ、又株式
會社鶴來銀行頭取、能美電氣鐵道株式會社、株式會社石川貯蓄
銀行ノ各取締役タリ

堀田義次郎

三重縣第一區選出、中正俱樂部所屬
從四位勳三等



明治七年四月筑後國三井郡大城村ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業○內務屬、愛媛縣事務官ヨリ鳥根縣事務官第四部長、長
野縣事務官警察部長、三重、滋賀、愛知各縣內務部長、滋賀縣
知事ニ歷任ス、

堀切善兵衛

福島縣第三區選出、立憲政友會所屬
正五位勳三等



明治十五年五月岩代國信夫郡飯坂町ニ生ル、慶應義塾卒業後米國、英國及獨逸ニ留學シ主トシテ經濟財政學ヲ研究ス○時事新報記者ト爲ル、大藏大臣秘書官、大藏省參事官、内閣總理大臣秘書官ニ任セラル、列國議會同盟會議ニ參列ス又慶應義塾大學教授タリ○衆議院議員ニ當選五回

細梅三郎

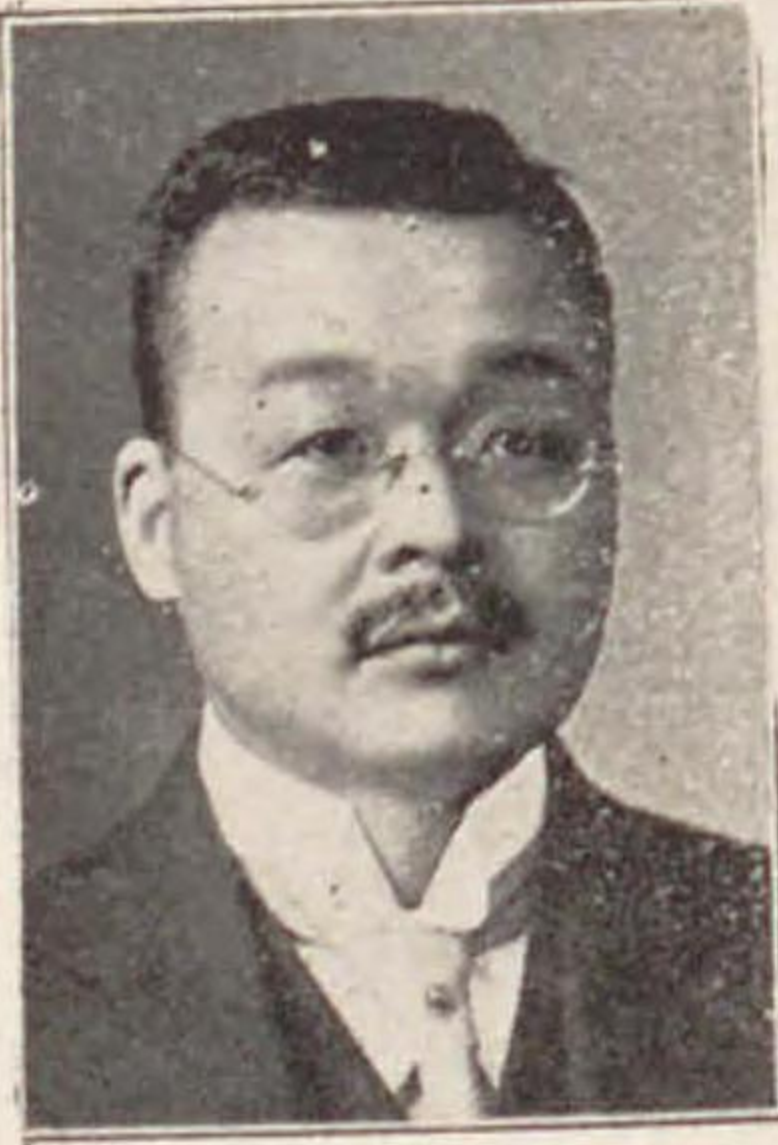
山形縣第六區選出、立憲政友會所屬
勳四等、農



明治七年八月羽前國北村山郡楯岡町ニ生ル、宮城縣農學校、早稻田大學卒業○北村山郡會議員、同議長、楯岡町長、山形縣會議員ニ舉ケラル○衆議院議員ニ當選三回

傍士定治

高知縣第三區選出、立憲政友會所屬
會社員



明治八年四月土佐國香美郡片地村ニ生ル、東京帝國大學法科大學ニ學フ○高知縣會議員ニ舉ケラル又大阪市主事、同東區長トナル、歐米各國ヲ視察ス、現ニ鷄林鑛業株式會社、日本セラチン株式會社ノ各取締役、東大阪土地建物株式會社、株式會社ライト商會各監査役タリ

星廉平

宮城縣第六區選出、政友本黨所屬



明治十九年一月宮城縣登米郡沼町ニ生ル、宮城縣立第二中學校卒業○宮城縣會議員ニ舉ケラル、現ニ東北電燈株式會社、栗駒水力電氣株式會社各重役タリ

星島二郎

岡山縣第二區選出、革新俱樂部所屬
辯護士



明治二十年十一月備前國兒島郡藤戸町ニ生ル、東京帝國大學法
科大學卒業○現ニ信用組合相互金庫、中央ビルヂング利用組合
ノ各理事長、隆文館出版會社重役、對支文化事業調査會委員タ
リ、又中央法律相談所、世帯の會ヲ經營ス○衆議院議員ニ當選
二回

本田義成

東京府第一區選出、中正俱樂部所屬
會社員



明治五年九月生ル○四谷區會議員、東京市會議員、東京府會議
員、同參事會員ニ擧ケラル、又曩ニ東京美術寮ヲ經營ス

本多貞次郎

千葉縣第三區選出、政友本黨所屬



安政五年一月宇都宮市ニ生ル○千葉縣會議員、同議長ニ擧ケラ
ル、現ニ京成電氣軌道株式會社、北總鐵道株式會社、武州鐵道
株式會社ノ各社長タリ○衆議院議員ニ當選二回

戸田由美

長野縣第十一區選出、憲政會所屬
農



明治十九年六月信濃國上伊那郡東春近村ニ生ル、慶應義塾大學
理財科卒業○南信毎日新聞社專務取締役主筆、南信絹糸紡績株
式會社專務取締役タリ、又米國ヲ視察ス

戸澤民十郎

香川縣第三區選出、憲政會所屬



明治十一年五月讚岐國小豆郡安田村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○曾テ辯護士業ニ從事シ高松市會議員、香川縣會議員ニ舉ケラル、又南滿洲太興合名會社理事、日支合辦天圖輕便鐵路公司總辦タリ

土井權大

兵庫縣第十一區選出、革新俱樂部所屬



明治十二年十一月播磨國揖保郡石海村ニ生ル、早稻田大學英語政治科卒業○兵庫縣會議員ニ舉ケラル、又北米殖民業ニ從事シ後南米「ブラジル」移民業ヲ開始ス、又隆文館圖書株式會社及日本化學工業株式會社監查役トナル、小作制度調査會委員被仰付、現ニ播州素麵同業組合組長、東京朝日信用組合長、石海信用購買販賣利用組合長タリ○衆議院議員ニ當選三回

土居通憲

岡山縣第八區選出、革新俱樂部所屬
會社重役



明治六年九月美作國苫田郡田邑村ニ生ル、慶應義塾ニ學フ○苫田郡會議員、同議長ニ舉ケラル、現ニ苫田郡農會長、岡山縣花筵同業組合長ニシテ又株式會社作備銀行、中國鐵道株式會社、中國水力電氣株式會社、中央物產株式會社各取締役、美作製紙株式會社、日本柳織株式會社各社長タリ○衆議院議員ニ當選二回

東郷實

鹿兒島縣第七區選出、政友本黨所屬
從四位勳四等、農學博士、農



明治十四年十一月大隅國贈嶽郡財部村ニ生ル、札幌農學校本科卒業後、柏林大學ニ學フ○彰化廳殖產事務囑託、同技師、南投廳技師、斗六廳技師、臺灣總督府技師、同總督官房調査課長、同臨時國勢調査部調査課長、同中研究所技師ニ歷任シ又屢歐米各國へ差遣セラル

床次竹二郎

鹿兒島縣第一區選出、政友本黨所屬
從三位勳一等



慶應二年十一月鹿兒島市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業○大藏書記官、府縣警部長、同書記官、同知事、內務省地方局長、內務次官、鐵道院總裁、內務大臣ニ歷任ス○衆議院議員ニ當選五回

富田愿之助

長崎縣第二區選出、政友本黨所屬



元治元年十二月肥前國東彼杵郡廣田村ニ生ル、東京帝國大學醫科大學別科卒業○佐世保村會議員、佐世保市會議員、同議長、長崎縣會議員、同名譽職參事會員ニ舉ケラル、現ニ西部合同瓦斯株式會社、五島電燈株式會社、有川電燈株式會社各取締役、壹岐電燈株式會社監査役タリ、又佐世保市會議員、同市勢振興調査委員、佐世保臨時都市計畫準備調査委員ニ選ハル

富永孝太郎

新潟縣第十二區選出、革新俱樂部所屬



慶應二年十二月越後國中頸城郡美守村ニ生ル、東京英和學校ニ學ヒ、後米國「イリノキ」大學ニ農學ヲ修ム○美守村長、新潟地方森林會議員、新潟縣農會評議員、中頸城郡農會長、新潟縣農友會々長ニ舉ケラル、現ニ産業組合中央會監事、同新潟支會長、新潟縣信用組合聯合會々長、至誠信用組合長、株式會社百三十九銀行取締役タリ○衆議院議員ニ當選二回

兵庫縣第十四區選出、政友本黨所屬
勳八等、酒類醸造業

千葉宮次郎



明治五年一月淡路國津名郡野島村ニ生ル、明治法律學校卒業○野島村長、岩屋町長、津名郡會議長、兵庫縣會議員、同議長ニ舉ケラル、又所得調査委員、宅地價修正委員トナル、現ニ淡路鐵道株式會社、株式會社淡路實業銀行各取締役、全淡自動車株式會社々長タルノ外數多會社ノ重役タリ

中馬興丸

兵庫縣第三區選出、憲政會所屬
正七位勳四等功五級、醫師



明治四年二月尼崎市ニ生ル、東京帝國大學醫學部卒業○陸軍一等軍醫ニ任セラル、兵庫縣立姫路病院副院長トナル、現ニ私立中馬病院長、私立尼崎訓育院長、私立琴浦育兒院長、尼崎市醫師會長、株式會社尼崎魚市場社長、株式會社青物市場社長タリ
○衆議院議員ニ當選二回

陣軍吉

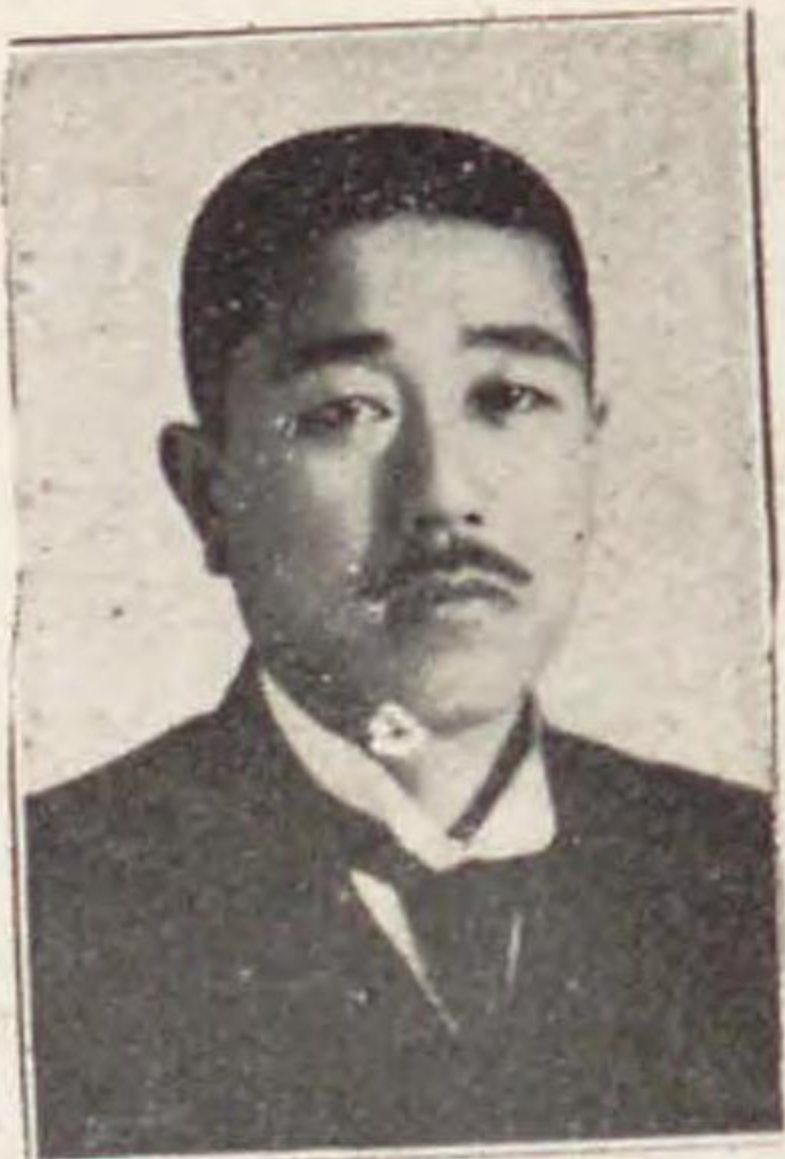
宮崎縣第二區選出、政友本黨所屬
從六位勳四等、會社重役



明治二年二月日向國西諸縣郡小林町ニ生ル○宮崎縣警視ニ任セラレ在官ノ儘韓國政府ノ招聘ニ應シ黃海道、咸鏡北道ノ各警察部長ニ補セラル、後靜岡縣磐田郡長、大分縣大野郡長ニ任セラ
ル現ニ二三會社ノ重役タリ○衆議院議員ニ當選三回

沼田嘉一郎

大阪府第四區選出、政友本黨所屬
會社員



明治十一年八月大阪市ニ生ル○宅地賃貸價格調査委員、國勢調査委員タリ、現ニ大阪市會議員、大阪都市計畫地方委員、中央市場設置調査委員、大阪府方面委員常務委員理事、借地借家調停委員ニシテ又西濱土地建物株式會社常務取締役タリ

小川平吉

長野縣第十區選出、立憲政友會所屬
正四位勳二等



明治二年信濃國諏訪郡富士見村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○多年辯護士業ニ從事ス、國勢院總裁ニ任セラル、東洋殖株式會社設立委員、日英博覽會評議員、法律取調委員會委員衆議院議員選舉法改正調査會委員、臨時法制審議會委員被仰付、又列國議會同盟會議ニ參列ス○衆議院議員ニ當選八回

小川郷太郎

岡山縣第五區選出、中正俱樂部所屬
從四位勳三等、法學博士、官吏



明治九年六月備中國淺口郡里庄村ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業後歐米ニ留學ス○京都國大學法科大學講師、同助教授、
同教授ニ歷任シ現ニ其ノ職ニアリ又帝國經濟會議々員、京都商
業會議所特別議員タリ○衆議院議員ニ當選二回

小野重行

神奈川縣第三區選出、憲政會所屬
農



明治十四年三月武藏國橋樹郡潮田町ニ生ル、中央大學卒業○町
田村長ニ選ハル○衆議院議員ニ當選二回

小野寅吉

愛媛縣第四區選出、政友本黨所屬
農



慶應二年十二月愛媛縣新居郡高津村ニ生ル、漢學ヲ修ム○高津
村助役、同村長、新居郡農會議員、同郡會議員、同參事會員、
愛媛縣會議員、同參事會員、同議長ニ舉ケラル○現ニ愛媛縣養
蠶聯合組合副會長、同蠶種同業組合副會長、同縣水産組合聯合
會議員、同縣農會議員、帝國農會議員ニシテ又東豫蠶種製造株
式會社々長、東豫製氷株式會社取締役タリ

小野義一

高知縣第五區選出、中正俱樂部所屬
從四位勳二等、官吏



明治九年十月土佐國幡多郡宿毛町ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業○專賣局參事、大藏書記官、同省參事官、大藏大臣祕書
官、大阪神戸各稅關長、大藏省銀行局長、同理財局長ニ歷任ス
又歐米、滿鮮南支各地ニ出張ヲ命セラレ、現ニ大藏次官タリ

尾崎行雄

三重縣第八區選出、革新俱樂部所屬
正三位勳一等



安政六年十一月生ル、慶應義塾卒業○統計權少書記官、外務省
參事官、文部大臣、司法大臣タリ、東京市長ニ舉ケラレ又新潟
新聞、報知新聞、朝野新聞記者ト爲ル、日本大博覽會評議員被
仰付、歐米ニ漫遊ス、又列國議會同盟會議ニ參列ス○衆議院議
員ニ當選十五回

折原巳一郎

兵庫縣第一區選出、政友本黨所屬
從三位勳三等



明治二年八月上野國邑樂郡大筒野村ニ生ル、東京帝國大學法科
大學卒業○内務屬、愛媛靜岡和歌山各縣參事官、大阪府第三部
長、滋賀福岡兵庫各縣内務務部長、奈良島根千葉兵庫各縣知事
ニ歷任ス

大石大

高知縣第二區選出、政友本黨所屬
會社重役



明治十一年一月土佐國長岡郡長岡村ニ生ル、明治大學法律科卒

業○現ニ愛媛鐵道株式會社長タリ○衆議院議員ニ當選二回

大濱忠三郎

神奈川縣第一區選出、憲政會所屬
會社重役



明治四年四月横濱市ニ生ル、早稻田大學英語本科卒業○横濱市
會議員、同議長、神奈川縣會議員、同市部會議長、帝都復興院
評議委員會評議員ニ舉ケラル、現ニ横濱商業會議所議員常務委
員、神奈川縣都市計畫委員、神奈川縣財務調查會委員ノ公職ニ
アリ又横濱生命保險株式會社々長、神奈川縣農工銀行取締役其
ノ他十數會社ノ重役タリ○曩ニ紺綬褒章ヲ下賜セラレ○衆議院
議員ニ當選二回

大岡育造

山口縣第六區選出、立憲政友會所屬
正四位勳二等



六竹謙治

新縣第十二區選出、立憲政友會所屬
農



大園榮三郎

奈良縣第五區選出、政友本黨所屬
從四位勳三等、會社員



大津淳一郎

茨城縣第四區選出、憲政會所屬
正五位勳二等



第一編 現在議員ノ履歴(をノ部)

安政三年六月長門國豊浦郡小串村ニ生ル、司法省法律學校ニ學
フ○辨護士タリ、東京府會議員、東京市會議員、同參事會員、
同議長ニ舉ケラル、又中央新聞社長タリ、文部大臣ニ任セラ
ル、臨時外交調査委員會委員被仰付特ニ國務大臣ノ禮遇ヲ賜ハ
ル、南滿洲鐵道株式會社創立委員、法典調査會委員、日本大博
覽會評議員、生産調査會委員、衆議院議員選舉法改正調査會委
員、神社奉祀調査會委員被仰付、歐米ニ漫遊ス、○衆議院議員
ニ當選十三回、曩ニ衆議院議長ニ重任スルコト三回

明治十一年十一月越後國中頸城郡大瀧村ニ生ル、東京高等商業
學校ニ學フ○中頸城郡參事會員ニ舉ケラル、現ニ頸城鐵道株式
會社、頸城倉庫株式會社、高田印刷株式會社ノ各社長、中頸城
郡明治村下増田及保倉村福岡各耕地整理組合長タリ

明治八年二月大和國宇智郡五條町ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業○遞信屬、鐵道院理事、大禮使事務官ニ歷任ス、又東海
道電氣鐵道株式會社專務取締役タリ、現ニ北惠那鐵道株式會社
取締役タリ

安政三年十二月常陸國多賀郡豊浦町ニ生ル○茨城縣會議員ニ選
ハル、大藏省副參政官、文部省參政官ニ任セラル、臨時教育委
員會委員被仰付、茨城日々新聞ヲ發刊ス、臺灣及支那ヲ視察ス
○衆議院議員ニ當選十三回

大内暢三

福岡縣第十四區選出、革新俱樂部所屬
勳四等、農



明治七年三月筑後國八女郡白木村ニ生ル、東京專門學校及米國「コロンビヤ」大學ニ於テ政治學及憲法學ヲ專攻ス○曩ニ近衛公爵ニ隨ツテ歐米ニ漫遊ス又東亞同文會創設ニ盡力シ現ニ同會理事タリ○衆議院議員ニ當選四回

大口喜六

愛知縣第二區選出、革新俱樂部所屬
勳四等、藥劑師、會社重役



明治三年五月豊橋市ニ生ル、東京帝國大學醫科大學藥學科ニ學フ○愛知縣會議員、豊橋市長、同市會議長、馬政調査委員、臨時財政經濟調査會委員、道路會議々員、鐵道會議々員ニ舉ケラル、又東京化學工業株式會社其ノ他數會社ノ重役タリ、支那朝鮮ヲ視察ス、現ニ豊橋市會議員、豊橋商業會議所特別議員、不當廉賣審査委員、都市計畫愛知縣地方委員、豊橋市農會長ノ公職ニ在リ、又矢作水力株式會社、日本格魯謨株式會社各取締役、豊橋新報社長、二連木農園々主タリ○衆議院議員ニ當選四回

大麻唯男

熊本縣第三區選出、政友本黨所屬
從五位勳五等



明治二十二年七月肥後國玉名郡梅林村ニ生ル、帝國大學法科大學卒業○山梨山形神奈川各縣警視、山形縣理事官、內務事務官、臨時震災救護事務局事務官、內務書記官、外務書記官、內閣總理大臣祕書官ニ歷任シ又臨時條約改正調査委員會幹事トナル、西伯利及支那ヲ視察ス○羅馬尼皇帝ヨリ「エドアルド、ルーマニ」第五等勳章ヲ贈ラル

大里廣次郎

福岡縣第十區選出、憲政會所屬
醫師



明治八年十月筑前國嘉穂郡飯塚町ニ生ル、第五高等學校醫學部卒業後東京帝國大學醫學部等ニ研究ス○福岡縣會議員、同參事會員、九州醫學會副委員長、內務省產婆試驗委員等ニ舉ケラル、現ニ福岡縣醫師會副會長、郡醫師會長、私立飯塚家政女學校長、嘉穂教育會名譽會員兼評議員等ヲ兼ネ又飯塚保健組合病院長タ

大島要三

福島縣第一區選出、憲政會所屬
銀行會社重役



安政六年二月武藏國北埼玉郡大桑村ニ生ル○多年土木工事請負業ニ從事ス又水力電氣事業ヲ經營シ福島電燈株式會社其他數會社ノ重役トナル、又福島町會議員、同市會議員、日本産業協會評議員ニ舉ケラル、現ニ東京米穀商品取引所、株式會社常磐商會、福島羽二重株式會社各監查役、東海生命保險相互會社、福島製絲株式會社各取締役、白柵鐵道株式會社長、社團法人福島競馬俱樂部會頭タリ

太田信治郎

東京府第六區選出、憲政會所屬
材木問屋、會社員



明治六年二月東京市ニ生ル○深川區會議員、同議長、東京市會議員、國有財産調査委員ニ舉ケラル、又東京材木問屋組合役員タリ、現ニ區會議員ニシテ又東京製材組合組長、株式會社萬信材木店專務取締役タリ、又東京市本所區ニ於テ十數年前ヨリ無料宿泊所ヲ經營シ之カ所長タリ○衆議院議員ニ當選二回

岡部次郎

長野縣第九區選出、憲政會所屬
正五位勳四等、會社重役



元治元年八月信濃國北佐久郡春日村ニ生ル、同人社ニ學ヒ後英米獨佛ニ留學シ「シカゴ」大學ニ於テ「エム、エー」ノ學位ヲ受ケ○布哇王國政府ニ聘セラレ又外務省翻譯官ト爲ル、日露戰役ニ從軍シテ外國通信員監督ヲ命セラレ後營口軍政署外交課長ト爲リ營口居留民團長、同行政委員會議長タリ又諸會社ノ重役ヲ兼ヌ、曩ニ海軍省參政官タリ、現ニ滿洲新報社長、國際平和協會專務理事、華日興業株式會社長、正隆銀行相談役タリ○衆議院議員ニ當選四回

岡田忠彦

岡山縣第一區選出、中正俱樂部所屬
從四位勳三等



明治十一年三月岡山市ニ生ル、帝國大學法科大學政治科卒業○高等文官試驗ニ合格ス、三重縣屬、靜岡大分奈良各縣事務官ニ任セラレ、又山口、熊本縣各警察部長、內務省書記官、長崎縣、東京府各內務部長、埼玉、長野、熊本縣各知事、內務省警保局長ニ歷任ス、歐米各國ヲ視察ス

岡田 溫

愛媛縣第二區選出、中正俱樂部所屬
從六位、法人役員



明治三年六月伊豫國溫泉郡石井村ニ生ル、東京帝國大學農科大學乙科卒業○愛媛縣農會技師、同縣技師トナル、現ニ帝國農會幹事タリ

岡田 伊太郎

北海道廳第六區選出、立憲政友會所屬
米穀商



明治十年十二月越前國坂井郡金津町ニ生ル○江別村會議員、江別町會議員、北海道會議員ニ選ハル、北海道農產物海外輸出事業ヲ經營セリ、又株式會社重役タリ○衆議院議員ニ當選二回

岡崎 邦輔

和歌山縣第二區選出、立憲政友會所屬
正五位勳三等、會社重役



安政元年三月和歌山市ニ生ル○遞信省官房長ニ任セララル、軍需評議會評議員、臨時財政經濟調查會委員被仰付、京阪電氣鐵道株式會社取締役、古河鑛業會社理事トナル、現ニ京阪電氣鐵道株式會社々長タリ○衆議院議員ニ當選十回

岡本 實太郎

愛知縣第十一區選出、憲政會所屬
正五位勳四等、辯護士

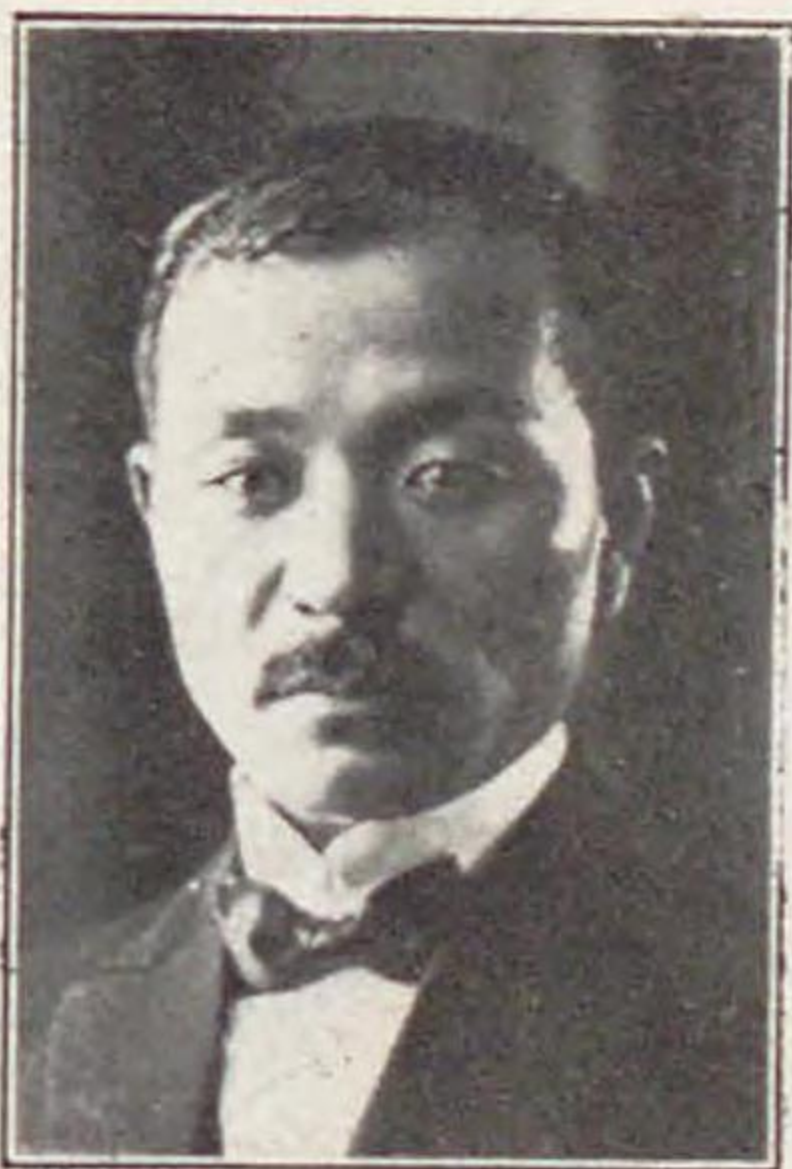


明治十四年六月三河國西加茂郡猿投村ニ生ル、明治法律學校卒業、文官高等試驗、判檢事登庸試驗ニ合格ス○司法官試補ニ任セラル、專賣局事務官、同主事、同參事トナリ熊本、尾道、阪出金澤、廣島各地方專賣局長ニ補セラル、又日本硬質陶器株式會社常務取締役タリ○現ニ辯護士業ニ從事ス

奥村千藏

岐阜縣第二區選出、憲政會所屬
勳八等、會社重役

五四



明治十七年十一月大垣市ニ生ル、中等學校ヲ經、支那語ヲ修ム
○日露戰役ニ從軍ス、滿蒙朝鮮ニ滞在スルコト十年、又英米及蘭
領南洋諸島ノ産業ヲ視察ス、現ニ大垣市會議員、西濃飲料水株
式會社長タリ

奥野小四郎

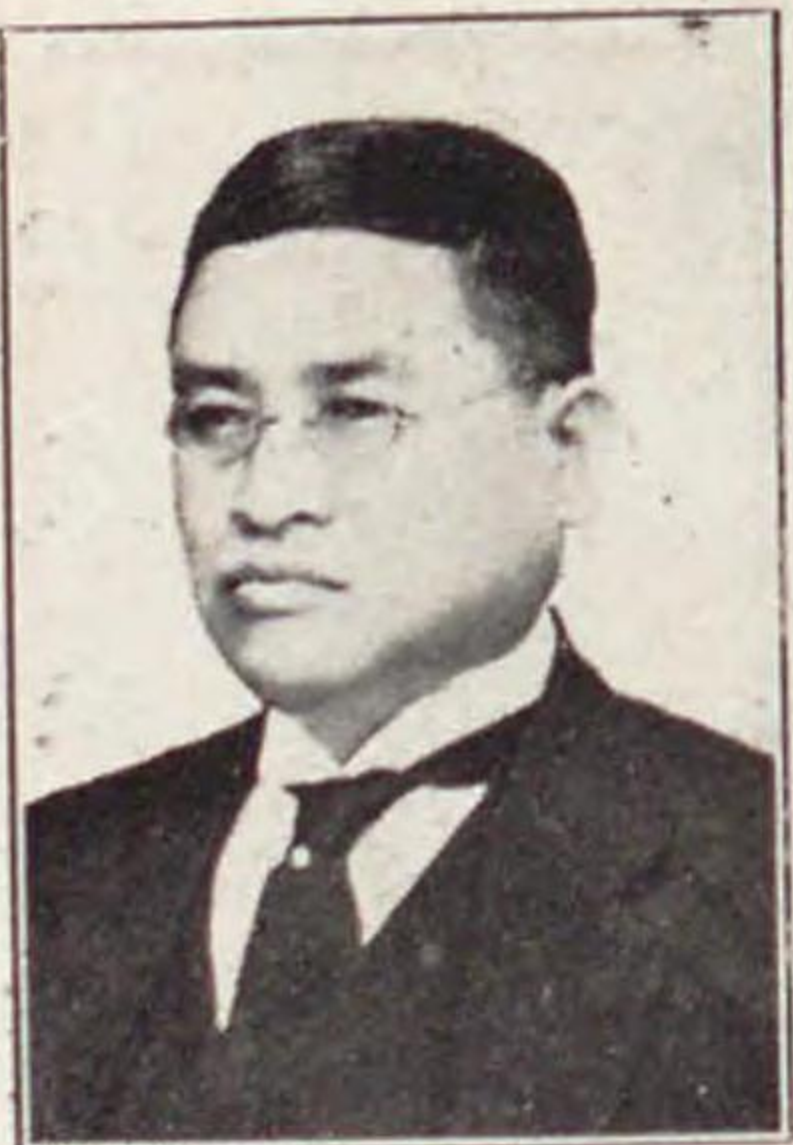
北海道廳第九區選出、中正俱樂部所屬
農牧業



明治十三年四月淡路國三原郡廣田村ニ生ル、第三高等學校ニ學
フ○北海道會議員ニ舉ケラル、十勝農政協會理事長タリ、現ニ十
勝產牛馬畜產組合長、十勝六郡農會副會長、北海道產牛馬畜產組
合聯合會評議員ニシテ士別軌道株式會社、十勝無盡株式會社各
社長、北海道殖産會社、北海道酒類製造株式會社ノ各重役タリ

長田桃藏

京都府第四區選出、立憲政友會所屬
會社員



明治三年八月丹後國與謝郡宮津町ニ生ル、日本法律學校卒業○
久世郡淀町長ニ舉ケラル、又會社重役タリ、現ニ京都府農會長、
帝國農會議員、同評議員タリ○衆議院議員ニ當選三回

若尾幾太郎

神奈川縣第一區選出、立憲政友會所屬
蠶絲貿易商



明治十七年三月横濱市ニ生ル、横濱商業學校卒業○多年蠶絲貿
易商、銀行業、取引所仲買保險代理業ヲ營ミ現ニ合名會社横濱
若尾銀行頭取、三ツ引商事株式會社監查役其ノ他數會社ノ重役
タリ、又神奈川縣蠶業調查會評議員、神奈川信用組合聯合會評
議員、神奈川縣匡濟會議員、同川崎社會館長等ノ職ニ在リ

若尾璋八

山梨縣第一區選出、中正俱樂部所屬
會社重役



若宮貞夫

兵庫縣第十二區選出、中正俱樂部所屬
從三位勳二等



渡邊伍

廣島縣第二區選出、立憲政友會所屬
從七位勳八等、辯護士



渡邊祐策

山口縣第四區選出、立憲政友會所屬
勳四等、鑛業



第一編 現在議員ノ履歷(わノ部)

明治六年七月甲斐國東山梨郡七里村ニ生ル、中央大學卒業○現ニ東京電燈株式會社副社長、信越電力株式會社、京濱電力株式會社、富士製紙株式會社、東洋モスリン株式會社、上毛モスリン株式會社、日本製麻株式會社、若尾銀行ノ各重役タリ、又臨時教育行政調査會委員、臨時産業調査會委員、軍需評議會評議員、教育評議會委員被仰付○衆議院議員ニ當選三回

明治八年一月但馬國城崎郡豐岡町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○遞信次官ニ任セラル、又帝國經濟會議々員、社團法人電信協會々長タリ

明治十七年六月吳市ニ生ル、京都帝國大學佛法科卒業○吳市會議員、廣島縣會議員ニ舉ケラル、現ニ辯護士業ニ從事ス

元治元年六月長門國宇部市ニ生ル○宇部村會議員、同助役、所得調査委員ニ舉ケラル、又宇部徒弟學校、濟美實科高等女學校ヲ設立ス、宇部電氣會社々長タリ、鐵道會議々員被仰付、現ニ宇部市會議長、私立沖ノ山尋常小學校、長門工業學校各校主、沖ノ山病院々主ニシテ沖ノ山炭鑛、第二沖ノ山炭鑛等ヲ經營ス又宇部鐵工所株式會社長、宇部銀行株式會社取締役其ノ他數會社銀行ノ重役タリ○曩ニ紺綬褒章ヲ授與セラル○衆議院議員ニ當選四回

鷺野米太郎

京都府第一區選出、實業同志會所屬
從七位、會社重役



明治十八年七月高知縣安藝郡吉良川村ニ生ル、東京高等師範學校及京都帝國大學獨逸法律科卒業○高知縣佐喜濱小學校訓導、臺灣國語學校教授兼同中學校教諭、京都愛宕郡長ニ歷任ス、京都市助役ニ舉ケラル、又大阪電氣鐵道會社專務取締役タリ、現ニ神戸信託株式會社取締役、大平洋海上火災保險株式會社專務取締役タリ、歐米各國ヲ視察ス

加藤知正

新潟縣六區選出、立憲政友會所屬
出版業



明治六年十一月越後國古志郡下鹽谷村ニ生ル、東京高等蠶絲學校卒業○中蒲原郡養蠶々種同業組合巡回教師、北越蠶業講習所教頭、大日本蠶絲會編輯主任、同會參事兼技師トナル、現ニ大日本蠶絲會評議員、同學藝委員、同囑託講師、帝國養蠶組合理事、東京金庫理事、東京高等蠶絲學校講師タリ、又出版業南光社長トナリ教育雜誌、圖書ノ刊行ニ從事ス

加藤政之助

埼玉縣第六區選出、憲政會所屬
正五位勳三等



安政元年七月武藏國北足立郡馬室村ニ生ル、慶應義塾ニ英學ヲ修ム○縣會議員、同議長ニ舉ケラル、大藏省參政官ニ任セラル、大阪新報主幹、北海新聞主幹、報知新聞記者トナル、函館馬車鐵道株式會社社長、日本大博覽會評議員、東上鐵道株式會社取締役、東京家畜市場株式會社社長タリ、又曩ニ帝國軍人後援會理事、東洋協會理事トナリ現ニ其ノ職ニ在リ○衆議院議員ニ當選十二回

加藤久米四郎

三重縣第六區選出、政友本黨所屬
從五位



明治十七年六月伊勢國桑名郡大山田村ニ生ル、日本大學卒業○多年日本大學幹事タリ、三度内務大臣祕書官ニ任セラル、又明治神宮造營局參事、社會事業調查會幹事被仰付○衆議院議員ニ當選二回

加藤 鏢五郎

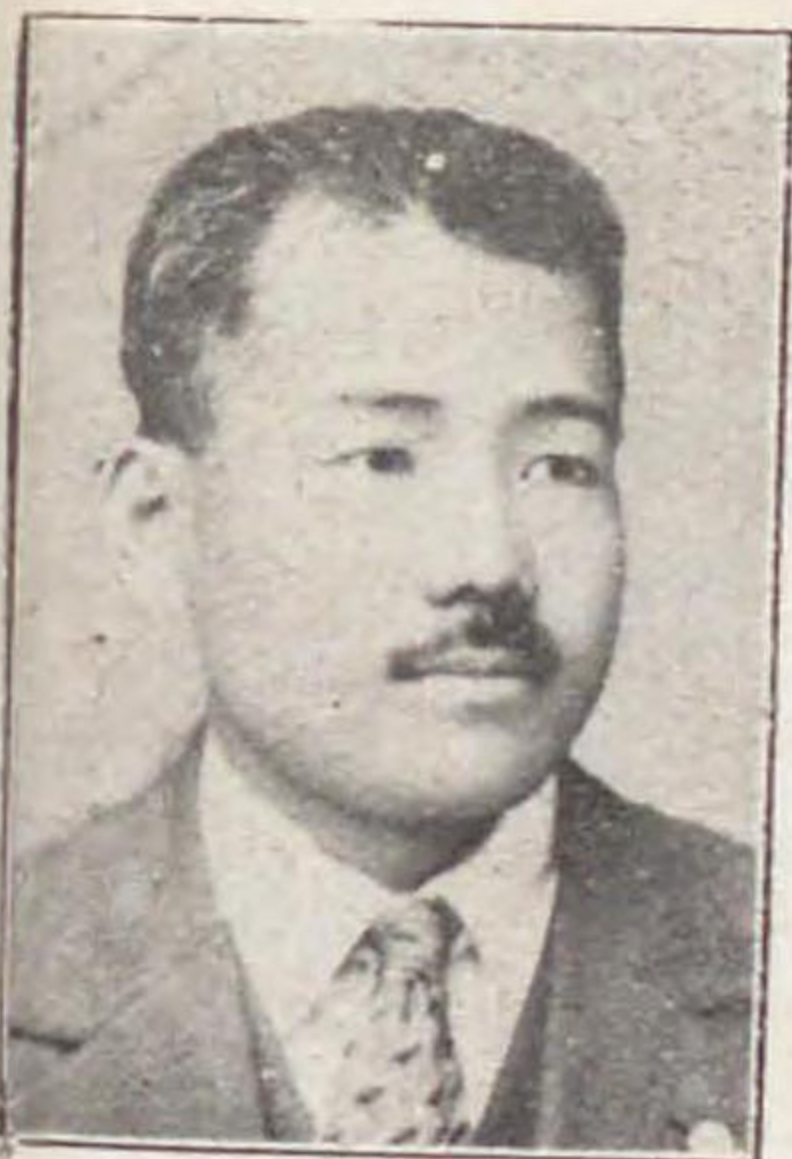
愛知縣第一區選出、政友本黨所屬
醫師



明治十六年三月尾張國東春日井郡瀬戸町ニ生ル、愛知醫學專門
學校卒業○名古屋市會議員、同參事會員、縣會議員、同參事會
員ニ舉ケラル、現ニ愛知縣會市部會議長、名古屋市會議員タリ

加藤 鯛一

愛知縣第六區選出、憲政會所屬



明治二十一年六月尾張國丹羽郡岩倉町ニ生ル

加藤 六藏

愛知縣第十二區選出、憲政會所屬
農



明治二十四年十二月三河國寶飯郡前芝村ニ生ル、慶應大學ニ學
ブ○前芝村長、愛知縣會議員ニ舉ケラル、現ニ寶飯郡教育會副
會長、愛知農事協會理事タリ

加藤 十四郎

佐賀縣第三區選出、憲政會所屬
農



元治元年七月肥前國三養基郡三川村ニ生ル、慶應義塾卒業、後
渡米シ市俄古市法律專門學校ヨリ「バチエラー、オプ、ロース」ノ
學位ヲ受ク○東京時事新報記者、山陽鐵道株式會社員トナル、
又三養基郡會議員、同參事會員、佐賀縣會議員ニ舉ケラル、後
北米合衆國ニ渡航シ、桑港新世界新聞記者、シヤトル市旭新聞
主筆トナル、又九州毎日新聞主筆、三好炭坑顧問、三好商事株
式會社專務取締役タリシトアリ

海原清平

德島縣第一區選出、政友本黨所屬
正六位、會社重役



明治十四年十二月神戸市ニ生ル、和佛法律學校卒業○神戸新聞
記者トナル、又鐵道院總裁秘書、内務大臣秘書官ニ任セラル○
衆議院議員ニ當選二回

川原茂輔

佐賀縣第五區選出、政友本黨所屬
勳三等、會社重役



安政六年九月肥前國西松浦郡大川内村ニ生ル○佐賀縣會議員、
同參事會員、同議長ニ選ハル、國勢調査準備委員會委員、廣軌
鐵道改築準備委員會委員、臨時國民經濟調査會委員、臨時治水
調査會委員被仰付、又伊万里鐵道株式會社監查役、船越鐵道株
式會社及日本電燈株式會社取締役、佐賀日々新聞社長タリ、清
韓ニ漫遊ス、出征軍慰問ノ爲メ青島ニ派遣セラル、又華盛頓會
議視察ノ爲メ米國ニ赴ク、現ニ肥前日々新聞社長タリ○衆議院
議員ニ當選十回

川口義久

神奈川縣第四區選出、
從五位



明治十二年一月相摸國鎌倉郡瀬谷村ニ生ル、日本大學卒業、後
米國オハイオ州立大學卒業「マスター、オヴ、アーツ」ノ學位ヲ受
ケ、又米國エール大學卒業「ドクトル、オヴ、ロー」ノ學位ヲ受ク
○曾テ日本大學幹事、同講師、同學監タリ、又神中鐵道株式會
社取締役、内務省囑託トナル、現ニ鐵道大臣秘書官、司法省囑
託、日本大學理事、同教授、川口製絲株式會社々長、株式會社
瀬谷銀行取締役、日華學會評議員タリ

川崎安之助

京都府第三區選出、憲政會所屬
勳四等、農



慶應三年四月山城國乙訓郡大山崎村ニ生ル○村長、府會議員、
同參事會員、同副議長、同郡部會議長、京都府農會長、同町村
長會長ニ舉ケラル、現ニ株式會社山崎銀行頭取、株式會社京津
電氣軌道會社監查役、株式會社乙訓銀行取締役タリ○衆議院議
員ニ當選四回

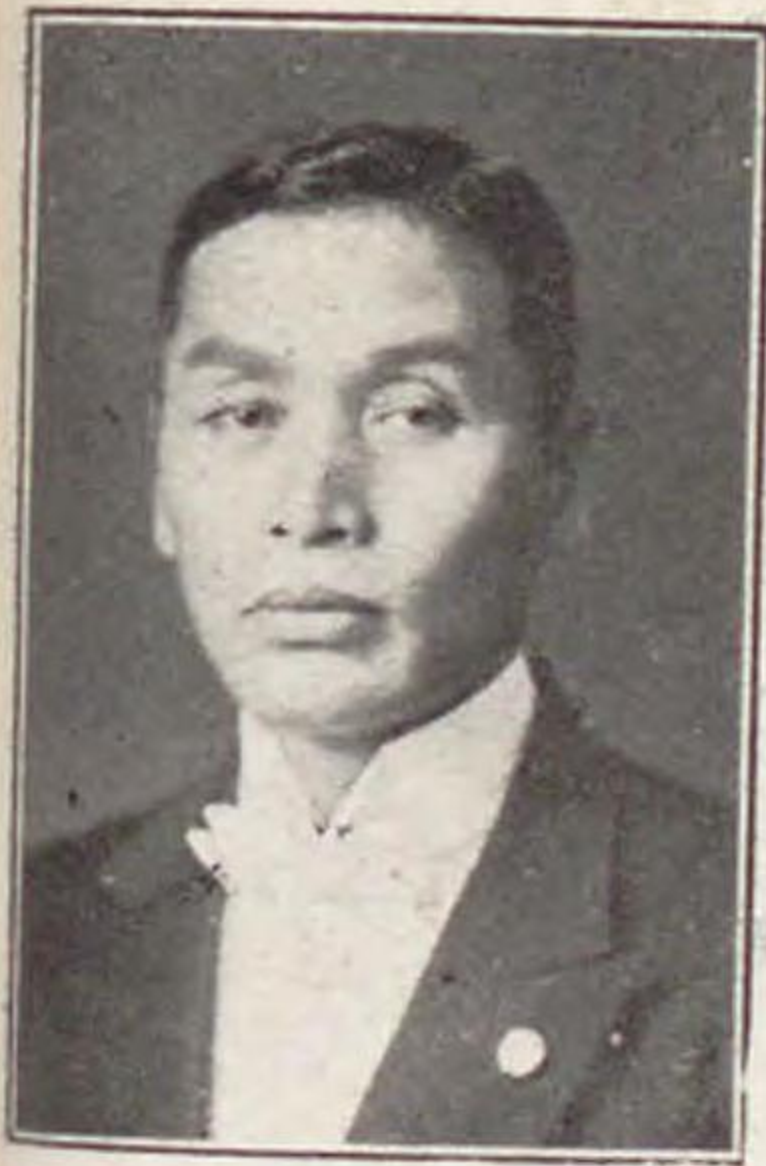
川崎克

三重縣第十區選出、憲政會所屬
勳四等、著述業



河波荒次郎

福岡縣第六區選出、憲政會所屬
農



明治十三年十二月伊賀國阿山郡上野町ニ生ル、日本大學卒業、
後東京外國語學校ニ佛語ヲ專攻ス○東京市吏員ト爲リ後朝鮮元
山民團長ニ任セラル、又日本新聞記者、元山時事新報主幹タリ
○衆議院議員ニ當選四回

慶應元年八月筑前國筑紫郡大野村ニ生ル、早稻田大學法科卒業
○大野村會議員、筑紫郡會議員、同議長、福岡縣會議員ニ舉ケ
ラル○衆議院議員ニ當選二回

河上哲太

愛媛縣第三區選出、立憲政友會所屬



明治十四年十月伊豫國周桑郡安村ニ生ル、東京高等商業學校卒
業○國民新聞社經濟部長タリ、歐米ニ漫遊ス○衆議院議員ニ當
選三回

河崎助太郎

岐阜縣第一區選出、實業同志會所屬
勳四等、織物商



明治六年一月岐阜市ニ生ル、神戸私立英學校卒業○現ニ大阪織
物同業組合長、日本輸出綿織物聯合會大阪支部長、大阪商業會
議所議員タリ、又毛斯綸紡績株式會社、日本毛糸紡績株式會社、
日華紡績株式會社、株式會社三十四銀行ニ各重役タリ、毛綿織
物類及羊毛、毛糸類ノ貿易並羊毛紡績業ニ從事ス○衆議院議員
ニ當選三回

河崎清

農 福井縣第五區選出、政友本黨所屬



明治三年十月若狹國遠敷郡松永村ニ生ル○福井縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、又南米殖民會社ノ業務代理人タリ、露領及朝鮮ヲ視察ス、現ニ福井縣地方森林會議員ニシテ又海外興業株式會社業務代理人、河野水電株式會社專務取締役、公州電氣株式會社監査役、水平寺鐵道株式會社々々長タリ○衆議院議員ニ當選二回

片岡直溫

京都府第二區選出、憲政會所屬
從七位、勳三等



安政六年九月土佐國高岡郡下山村ニ生ル、高知師範學校卒業○高知縣三等訓導、同高岡郡書記、內務省、工部省各御用掛、滋賀縣一等屬、同警部長、又日本生命保險會社々々長、共同銀行頭取其他數會社ノ取締役社長タリ、又獨逸伯林萬國保險學會名譽副議長トナル、現ニ日本生命保險株式會社相談役、京都都ホ
テル株式會社取締役社長タリ○衆議院議員ニ當選七回

金田平兵衛

農 廣島縣第十區選出、憲政會所屬



明治三年九月備後國御調郡宇津戸村ニ生ル、東京法學院卒業○宇津戸村長トナル、又廣島縣會議員、同參事會員、同郡部會副議長ニ選ハル、又尾道穀物株式會社取締役タリ、支那朝鮮ヲ視察ス現ニ尾道鐵道株式會社、株式會社尾道銀行ノ各取締役タリ
○衆議院議員ニ當選二回

金澤安之助

農 福島縣第六區選出、憲政會所屬



明治八年五月磐城國東白川郡石井村ニ生ル○福島縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、現ニ白棚鐵道株式會社取締役タリ○衆議院議員ニ當選二回

金光庸夫

大分縣第二區選出、政友本黨所屬
勳七等、會社重役



明治十年三月豊前國宇佐郡高家村ニ生ル○現ニ東京商業會議所
常議員、大正生命保險株式會社、日本教育生命保險株式會社、
新日本火災海上保險株式會社各專務取締役、王子電氣軌道株式
會社。京王電氣軌道株式會社、東亞煙草株式會社各取締役、ク
ロード式窒素工業株式會社、合同油脂グリセリン株式會社各監
査役タリ○衆議院議員ニ當選二回

兼田秀雄

青森縣第三區選出、政友本黨所屬
會社員



明治十三年五月青森縣南津輕郡黒石町ニ生ル、早稻田大學政治
科卒業○中央新聞記者、東京朝日新聞記者政治部長タリ、現ニ
南滿洲鐵道株式會社秘書役兼參事タリ

兼松寅太郎

滋賀縣第一區選出、立憲政友會所屬
會社重役



慶應二年十二月近江國犬上郡彦根町ニ生ル○株式會社近江米取
引所監査役、同理事、彦根米穀取引所仲買人、長濱製氷冷蔵株
式會社々長トナル、現ニ天津商業會議所會頭、株式會社近江取
引所理事長、近江絹絲紡績株式會社取締役、近畿バラスト株式
會社監査役タリ

笠原忠造

長野縣第一區選出、立憲政友會所屬
勳四等、辯護士、會社重役



明治十一年十月長野市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○長
野市會議員、同議長、長野縣會議員、同議長ニ擧ケラル、現ニ
京濱電力株式會社常務取締役タリ、又辯護士業ニ從事ス○衆議
院議員ニ當選二回

神村吉郎

沖繩縣第三區選出、政友本黨所屬
農



憲應三年三月琉球國中頭郡具志川村ニ生ル、東京帝國大學農科大學實科卒業○沖繩縣屬、同農工銀行專務取締役、同中頭郡立農事試驗場主事、同縣會議員、琉球砂糖株式會社長タリ、現ニ具志川村會議員タリ

神谷彌平

埼玉縣第二區選出、憲政會所屬
農



明治八年十一月武藏國北葛飾郡彥成村ニ生ル○彥成村長、彥成村會議員、彥成信用組合長、産業組合聯合會理事、北葛飾郡農會副會長トナル、郡會議員、同議長、埼玉縣會議員ニ舉ケラル
○衆議院議員ニ當選二回

神部爲藏

北海道廳第七區選出、憲政會所屬
農



元治元年二月相摸國高座郡有馬村ニ生ル○神奈川縣技手、北海道廳技手、北海道會議員トナル、現ニ瀧川町會議員、瀧川稅務署管内地價調査委員タリ、又瀧川興産株式會社、瀧川構内倉庫株式會社其ノ他數會社ノ重役タリ、石狩國鷹栖村ニ農場ヲ經營ス

神田正雄

栃木縣第三區選出、憲政會所屬
新聞記者



明治十二年三月下野國那須郡蘆野村ニ生ル、宮城縣立農學校、東京專門學校卒業、後紐育市コロンビヤ大學及英國オックスフォード大學ニ學ブ、支那文「四川地理教科書」其ノ他數種ノ著アリ○支那四川省ノ學校ニ教育顧問兼教習タリ、後東京朝日新聞社ニ入り北京特派員、支那部長、政治部長、外報部長、編輯委員トナル、南米各國殖民地ヲ視察ス、現ニ朝日新聞客員タリ

神崎 勳

福岡縣第十七區選出、立憲政友會所屬
勳八等、釀造業



元治元年八月豊前國筑上郡山田村ニ生ル○山田村助役、福岡縣
會議員、同副議長、同議長ニ舉ケラル、現ニ福岡縣教育會々長
タリ○衆議院議員ニ當選二回

柏田 忠一

巖手縣第三區選出、政友本黨所屬
辯護士



明治十九年十一月陸奧國二戸郡金一村ニ生ル、東京帝國大學法
科大學卒業、後英、獨、佛ノ各國ニ遊學ス○上海日々新聞社主
筆トナル、現ニ財團法人東亞攻究會理事ニシテ、又上海ニ於ケ
ル國際裁判所(會審衙門)ノ所屬辯護士タリ

粕谷 義三

埼玉縣第二區選出、立憲政友會所屬
勳二等、農



慶應二年八月武藏國入間郡藤澤村ニ生ル、「ミシガン」大學ヲ卒
業シ「パチラー、オブ、ロース」ノ學位ヲ受ク○埼玉縣會議員、同
副議長、同參事會員ニ舉ケラル、國勢調査準備委員會委員、國
勢調査評議會評議員、中央統計委員會臨時委員被仰付、巴奈馬
太平洋萬國博覽會評議員囑託タリ、又自由新聞ヲ發刊ス○衆議
院議員ニ當選十回、曩ニ衆議院副議長、同議長タリ

米原於菟男

石川縣第三區選出、政友本黨所屬
會社員



慶應元年十月金澤市ニ生ル、東京高等商業學校、東京外國語學
校ニ學フ○金澤市會議員、石川縣會議員、同議長ニ舉ケラル、
又金澤新報、石川新聞各記者、石川新聞社長ト爲ル、現ニ能登
鐵道株式會社、北陸共同電氣株式會社各取締役タリ○衆議院議
員ニ當選二回

横田千之助

栃木縣第七區選出、立憲政友會所屬
從四位勳二等



明治三年八月下野國足利郡足利町ニ生ル、中央大學卒業○多年
辯護士業ニ從事ス、法制局長官兼内閣恩給局長ニ任セラル、國
勢調査評議會副會長、臨時教育會議議員、聯合國經濟會議決議
施委員、官有財産調査委員、臨時法制審議會委員、中央統計委員、
經濟調査會委員、臨時法制審議會委員、中央統計委員、臨時財
臨時産業調査會委員、臨時法制審議會委員、中央統計委員、都
書中央委員會委員、國有財産調査會委員、教育評議會委員、都
付、全權委員隨員トシテ華盛頓會議ニ參列ス、現ニ司法大臣
○衆議院議員ニ當選五回

横山勝太郎

東京府第三區選出、憲政會所屬
辯護士



明治十年十一月備後國比婆郡東城町ニ生ル、日本大學卒業○判
事檢事登用試験及辯護士試験ニ合格シ司法官試補ニ任セラル、
後辭シテ辯護士トナル、又東京市會議員ニ選ハル、現ニ芝區會
議員タリ○衆議院議員ニ當選三回

横山一格

三重縣第五區選出、憲政會所屬
醫師



明治十三年三月生ル、京都帝國大學醫學部卒業○大阪胃腸病院
副院長トナル、現ニ名古屋聯隊區教育會長、名古屋衛生組合長、
同市會議員、同醫師會議員、愛知縣醫師會議員タリ

横山金太郎

廣島縣第五區選出、憲政會所屬
正七位勳四等、辯護士



明治元年十一月備後國比婆郡東城町ニ生ル、中央大學卒業○松
山地方裁判所判事、臺灣總督府法院判官ニ任セラル、廣島市會
議員、同議長、廣島縣會議員、同副議長、同市部會議長ニ選ハ
ル、現ニ廣島辯護士會長、同常議員會々長タリ○衆議院議員ニ
當選五回

吉原義雄

新潟縣第七區選出、憲政會所屬
農



明治五年九月越後國南蒲原郡中之嶋村ニ生ル、慶應義塾ニ學ブ
○西所村三沼村組合村長、中之島村長ト爲ル、屢、縣會議員、郡
會議員ニ選ハル、現ニ中之島村會議員、同村農會長、南蒲原郡
農會長等ノ公職ニ在リ

吉川吉郎兵衛

大阪府第六區選出、憲政會所屬
勳四等



明治三年四月攝津國西成郡津守村ニ生ル○津守村長ニ舉ケラル
又大阪府會議員、同參事會員、土地收用審査會委員ニ選ハル○
衆議院議員ニ當選二回

吉田眞策

廣島縣第七區選出、立憲政友會所屬
從七位、辯護士



明治十六年一月安藝國山縣郡吉坂村ニ生ル、京都帝國大學法科
大學卒業○統監府檢事、朝鮮大邱地方裁判所檢事ニ任セラル、
現ニ私立廣陵中學校理事タリ

吉田磯吉

福岡縣第五區選出、憲政會所屬
勳四等、鑛業



慶應三年五月筑前國遠賀郡蘆屋町ニ生ル○現ニ海老津炭鑛株式
會社、若松帆船運輸株式會社、蘆屋鐵道株式會社各社長、神戸
銀行、若戸魚市場株式會社、中外大理石株式會社、佐賀炭鑛株
式會社各重役タリ○衆議院議員ニ當選三回

吉津度

大阪府第三區選出、立憲政友會所屬
正八位勳六等、醫師



明治十一年一月河内國中河内郡若江村ニ生ル○陸軍三等軍醫ニ任セラル、又大阪府會議員、同參事會員、同議長、大阪市會議員、大阪市區改正委員會臨時委員ニ舉ケラル、現ニ大阪細菌研究所長、梅田病院院長タリ

吉村伊助

京都府第七區選出、政友本黨所屬
縮緬商



明治六年一月但馬國城崎郡日高村ニ生ル○峯山町長、京都府會議員、同議長ニ舉ケラル、又丹後縮緬三郡同業組合聯合會長タリ、現ニ峯山稅務署管内所得調査委員、大阪稅務監督局管内所得審査委員、京都地方森林會議員、京都府蠶種聯合會長タリ

吉植庄一郎

千葉縣第二區選出、政友本黨所屬
正五位勳三等、農



慶應元年九月下總國印旛郡本埜村ニ生ル○北海道ニ於テ開墾ニ從事ス、北海道時事新聞社長、北海タイムス社理事、中央新聞社理事、同社長トナル、大阪新報ヲ經營ス、又文部省參事官ニ任セラル、廣軌鐵道改築準備委員會委員、教育評議會委員、臨時財政經濟調査會委員、臨時產業調査會委員被仰付、數次歐米各國ヲ歴遊ス○衆議院議員ニ當選八回

吉松忠敬

宮崎縣第一區選出、政友本黨所屬
勳八等、林業



慶應元年九月日向國南那珂郡福島村ニ生ル○陸軍砲兵一等軍曹ニ任セラル、宮崎縣會議員、同議長ニ舉ケラル、又福島村長トナル

吉木陽

山口縣第八區選出、政友本黨所屬
會社重役



太宰孫九

愛媛縣第七區選出、政友本黨所屬
會社重役



田邊七六

山梨縣第二區選出、立憲政友會所屬
酒造業



田中讓

大阪府第二區選出、實業同志會所屬
會社重役



明治十四年三月周防國熊毛郡大野村ニ生ル、京都帝國大學理工科大學電氣科卒業○宇都 中學校教諭、宇都宮電燈株式會社技師長、奥羽電燈株式會社技師長トナル、又周防電燈株式會社專務取締役、大島電氣株式會社取締役、全州電氣株式會社長、中外電氣株式會社取締役ニ舉ケラル、現ニ周東自動車株式會社長、中島電氣株式會社、全北電氣株式會社各取締役、周東中學校主タリ、支那朝鮮ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選二回

明治十二年十月伊豫國北宇和郡二名村ニ生ル、第四高等學校ニ學フ○二名村會議員、丸龜稅務監督局管内相續稅審查委員、北宇和郡會議員、所得調查委員、二名村長、北宇和郡畜産組合長、愛媛縣會議員、同副議長ニ舉ケラル、現ニ宇和水電株式會社專務取締役、株式會社穗積銀行取締役、宇和島製紙株式會社取締役社長、北宇和郡農會會長タリ

明治十二年三月甲斐國東山梨郡七里村ニ生ル○現ニ千代田製絲株式會社々長、富士水電株式會社取締役タリ

明治七年八月紀伊國西牟婁郡周參見町ニ生ル○福井、島根各縣土工手、農商務省營林技師トナル、又株式會社松村組專務取締役社長、日本土木建築請負業者聯合會本部理事タリ、現ニ大阪市會議員、都市計畫大阪地方委員會委員、同常務委員、大阪地方裁判所借地借家調停委員ニシテ株式會社高木銀行取締役、山本絹紡績株式會社取締役タリ

田中萬逸

大阪府第九區選出、憲政會所屬
會社重役



明治十五年九月河内國南河内郡富田林町ニ生ル、大阪府農學校卒業後早稻田大學ニ學フ○多年報知新聞記者タリ、又早稻田鐵山株式會社取締役、石切土地建物株式會社監查役トナル○衆議院議員ニ當選四回

田中武雄

兵庫縣第二區選出、憲政會所屬
從七位、官吏



明治二十一年六月東京市ニ生ル、青山學院高等科修業、後歐米ニ留學ス○陸軍歩兵中尉ニ任セラル、岩見銀行頭取、廣銀行、關西電氣土木興業會社ノ各取締役タリ、列國議會同盟會議及汎太平洋商業會議ニ參列ス 現ニ鐵道大臣祕書官ニシテ列國議會同盟評議員、汎太平洋協會評議員、對支文化事業調查委員タリ
○衆議院議員ニ當選二回

田中善立

愛知縣第一區選出、憲政會所屬
正五位勳四等



明治七年十一月名古屋市ニ生ル、東京哲學館卒業○彙ニ海軍省副參政官ニ任セラル○衆議院議員ニ當選五回

田中隆三

秋田縣第一區選出、政友本黨所屬
從四位勳二等



元治元年十一月秋田市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○農商務省特許局審判官、同省參事官、鑛山監督官、衆議院書記官、法制局參事官、長崎縣書記官、農商務省鑛山局長、行政裁判所評定官、農商務次官ニ歷任ス、又中央統計委員會委員、軍需評議會評議員其ノ他數多ノ調査會委員會等ノ委員タリ、現ニ勞働保險調査會委員、秋田銀行取締役、秋田水力電氣會社々長、東北拓植會社相談役、日本鑛業會社々長タリ○紺綬褒章ヲ賜ハル
○衆議院議員ニ當選四回

田中定吉

香川縣第一區選出、立憲政友會所屬
勳三等、會社重役



田口文次

佐賀縣第四區選出、政友本黨所屬
勳七等、農



明治三年二月高松市ニ生ル、專修學校理財科卒業○高松市會議員、香川縣會議員、同議長、高松商業會議所會頭ニ舉ケラル、第百十四銀行監査役タリ○衆議院議員ニ當選六回

明治元年四月肥前國杵嶋郡山口村ニ生ル、慶應義塾及早稻田東京專門學校ニ學フ○村長、郡會議員、佐賀縣會議員ニ舉ケラル

田淵豊吉

和歌山縣第四區選出



明治十五年二月紀伊國日高郡御坊町ニ生ル、早稻田大學政治科卒業後、獨逸國柏林大學「ライプツヒ大學」「ミュンヘン」大學ニ財政經濟學ヲ修ム○衆議院議員ニ當選二回

田崎信藏

京都府第二區選出、革新俱樂部所屬



明治十八年一月河内國中河内郡八尾町ニ生ル、大阪藥學校卒業、後法政大學ニ學フ○京都市會議員、同副議長ニ舉ケラル、又京都商工信用組合常務理事トナル、現ニ市會議員、京都建築工匠組合長、京都勸業無盡株式會社、株式會社小川合金製作所各取締役タリ

多木久米次郎

兵庫縣第八區選出、
勳四等、會社重役



安政六年五月播磨國加古郡別府村ニ生ル○兵庫縣農會長、兵庫縣農政俱樂部會長ニ選ハル、又多木製肥所ヲ設立シテ化學肥料ヲ創製ス、現ニ株式會社多木製肥所長ニシテ諸會社銀行ノ重役ヲ兼ヌ、大日本聯合肥料會幹事タリ、歐米及清國ヲ視察ス○曩ニ藍綬褒章ヲ下賜セラル○衆議院議員ニ當選四回

谷原公

德島縣第三區選出、政友本黨所屬
辯護士



明治十七年九月德島縣海部郡川上村ニ生ル、明治大學卒業○小學校長、川上村長、海部郡會議長、德島縣會議員ニ舉ケラル、又破産管財人タリ、現ニ辯護士業ニ從事ス

谷口宇右衛門

福井縣第二區選出、憲政會所屬
農



慶應二年四月越前國吉田郡圓山西村ニ生ル○村長、郡農會長、福井縣會議員、同參事會員、土地收用審査委員等ニ舉ケラル、又福井縣農工銀行、福井紡織株式會社、福武電氣鐵道會社ノ各取締役タリ、現ニ圓山西村農會長、同信用購買販賣組合長、吉田郡農會長、同教育會長、福井縣信用組合聯合會理事、福井仁愛高等女學校理事タリ

谷口源十郎

鳥取縣第二區選出、憲政會所屬
農



明治十六年五月因幡國岩美郡米里村ニ生ル○鳥取稅務署管内所得調査委員、廣島稅務監督局管内所得審査委員、鳥取縣會議員ニ舉ケラル、現ニ米里村會議員、岩美郡農會長、鳥取縣農會議員、鳥取縣米穀會副會長ニシテ、又株式會社大正鳥取銀行取締役、因伯產業株式會社長、株式會社鳥取新報社監查役タリ

俵 孫 一

鳥根縣第五區選出、憲政會所屬
正四位勳二等



明治二年五月鳥根縣那賀郡濱田町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○韓國學部次官、統監府書記官、同參與官、朝鮮總督府臨時土地調查局副總裁、三重縣、宮城縣各知事、北海道廳長官ニ歷任ス、又拓殖事務局長ニ任セラル

高 井 商 二

滋賀縣第四區選出、立憲政友會所屬
正八位、醬油釀造業



明治十九年六月近江國蒲生郡日野町ニ生ル、神戸高等商業學校卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、郡會議員ニ選ハル、日野町主事其ノ他同町ニ於ケル種々ノ公職ニ就ク

高 橋 光 威

新潟縣第五區選出、政友本黨所屬
從四位勳二等



慶應三年十二月越後國北蒲原郡菅谷村ニ生ル、慶應義塾大學法學科卒業後英米ニ遊學ス○福岡日々新聞主筆、大阪新報主筆、博多商業會議所特別議員ニ舉ケラル、又蓬萊生命保險相互會社重役タリ又内務大臣秘書官、内務省勅任參事官、内閣書記官長ニ任セラル、又軍事評議會評議員、臨時產業調查會委員、臨時教育會議委員、聯合國經濟會議決議實施委員、臨時外交調查委員會幹事、軍需局參與、臨時財政經濟調查會委員、臨時法制審議會委員、中央統計委員會委員被仰付、列國議會同盟會議ニ日本派遣議員團長トシテ參列ス○衆議院議員ニ當選六回

高 橋 元 四 郎

栃木縣第五區選出、憲政會所屬
印刷業



明治七年十月下野國上都賀郡西方村ニ生ル○郡會議員、同參事會員、縣會議員、同參事會員、同副議長、同議長ニ舉ケラル、又郡農會議員、同副會長タリ、現ニ町會議員、郡教育會理事同副會長、縣治水會員、同財源調查會員ノ公職ニアル外株式會社鹿沼印刷會社々長タリ

第一編 現在議員ノ履歷(たノ部)

高橋 是清

巖手縣第一區選出、立憲政友會所屬
從三位勳一等



安政元年七月東京市ニ生ル、開成學校ニ學ヒ米國ニ留學ス○文部省十等出仕、大阪英語學校長、農商務省少書記官、專賣特許局長、東京農林學校長、日本銀行總裁、橫濱正金銀行頭取、大藏大臣、内閣總理大臣等ニ歷任ス、又貴族院議員タリ、其ノ間諸種調査會ノ委員、副會長、會長ニ學ケラル、又帝國日本政府特派財政委員トナル、海外ニ出張スルコト四回、現ニ農商務大臣タリ

高橋 熊次郎

山形縣第三區選出、立憲政友會所屬
農



明治十三年九月岩代國信夫郡瀬上町ニ生ル、東京高等商業學校卒業後米國「アライアント」ストラットン商業大學ニ學フ○聖路易萬國博覽會日本出品協會渡航委員、諸國海關封帛辨トナル、又山形縣會議員ニ學ケラル、現ニ山形縣養蠶組合聯合會、同家畜協會各副會長、同園藝組合聯合會、同藪市場協會各會長、同畜產組合聯合會評議員、同南村山郡農會副會長、株式會社山形商業銀行、株式會社山形自由新聞社各取締役、上山電氣株式會社社長、有限責任村山農蠶販賣購買利用組合長、同上山製乳販賣購買組合長ニシテ又高橋農園ヲ經營ス

高鳥 順作

新潟縣第十一區選出、中正俱樂部所屬
勳四等、銀行重役



明治元年四月越後國西頸城郡熊生谷村ニ生ル○町長、郡會議員、同議長ニ學ケラル、支那各地ヲ視察ス、現ニ郡農會長、同教育會長、同青年會長、相續稅審査委員、所得調查委員會長、新潟縣治水會名譽會員、同縣山林會評議員等ノ公職ニアリ、又株式會社公益銀行取締役、株式會社能生銀行專務取締役タリ○金員寄附ノ廉ニ依リ紺綬褒章ヲ賜ハル○衆議院議員ニ當選三回

高田 耘平

栃木縣第七區選出、憲政會所屬
勳四等、農



明治六年十二月下野國那須郡荒川村ニ生ル○稅務屬、村助役、郡會議員、縣會議員、同參事會員、所得調查委員ト爲ル、小作制度調査委員、道路會議々員被仰付、現ニ鹽那電氣株式會社專務取締役、鹽原電車株式會社取締役タリ○衆議院議員ニ當選四回

高草美代藏

岡山縣第五區選出、革新俱樂部所屬
從七位、農



高山長幸

愛媛縣第五區選出、立憲政友會所屬



慶應三年七月伊豫國喜多郡大洲村ニ生ル、慶應義塾卒業○曩ニ合名會社三井銀行本店副支配人、同行函館、深川、大津、長崎、各支店長、大日本製糖株式會社常務取締役、株式會社帝國商業銀行取締役會長其他數會社ノ重役ト爲ル○衆議院議員ニ當選三回

高木益太郎

東京府第五區選出、
勳四等、辯護士、會社重役



明治二年一月東京市ニ生ル、東京法學院卒業○法律新聞ヲ發刊ス、尾張屋銀行監査役タリ、又國有財産調査會委員、衆議院議員選舉法改正調査會委員、産業調査會委員被仰付、現ニ尾西鐵道株式會社社長、遠州電氣、木曾川物産各會社取締役、法政大學總務部長タリ、支那及歐米各國ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選五回

高木正年

東京府第十三區選出、革新俱樂部所屬
勳四等



安政三年十二月武藏國荏原郡南品川宿ニ生ル、江木學校ニ政法ノ學ヲ修ム○東京府會議員、同常置委員ニ舉ケラル、米價調節調査委員、官有財産調査會委員、國有財産調査會委員被仰付○衆議院議員ニ當選十回

高木音藏

農 岐阜縣第四區選出、政友本黨所屬



明治十一年一月美濃國海津郡海西村ニ生ル、京都高等蠶業學校卒業○岐阜縣蠶業取締所吏員、同土岐蠶業講習所長、同惠那郡蠶業技手ニ歷任ス、又海西村會議員、同村長、水利組合會議員、岐阜縣町村長會評議員、郡村農會、岐阜縣農事協會、同地方協會各役員ニ舉ラル

高木第四郎

熊本縣第二區選出、政友本黨所屬新聞社長



文久二年八月熊本市ニ生ル○市會議員、郡會議員、縣會議員ニ舉ケラル、又株式會社九州銀行取締役トナル、現ニ株式會社九州新聞社長、株式會社肥後農工銀行取締役タリ○衆議院議員ニ當選二回

高見之通

富山縣第一區選出、政友本黨所屬辯護士



明治十二年三月富山市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○米國支那及朝鮮ヲ視察ス、現ニ辯護士業ニ從事ス○衆議院議員ニ當選三回

高島兵吉

德島縣第五區選出、革新俱樂部所屬石灰製造業



慶應二年六月阿波國板野郡撫養町ニ生ル○屢々縣會議員ニ選ハル○衆議院議員ニ當選二回

賴母木桂吉

東京府第七區選出、憲政會所屬
勳四等、會社重役



慶應三年十月備後國蘆品郡府中町ニ生ル、高等中學卒業○淺草區會議員、東京市會議員ニ舉ケラル、報知新聞記者、同營業部長、東京毎日新聞社長、早稻田大學講師、日本タイプライター株式會社取締役トナル、歐米ニ漫遊ス、現ニ帝國通信社長タリ
○衆議院議員ニ當選四回

竹原樸

三重縣第九區選出、立憲政友會所屬
勳七等



嘉永五年四月生ル、大阪開成所ニ修學ス○鵜殿村長、南牟婁郡會議員、三重縣會議員ニ舉ケラル

竹内友治郎

山梨縣第三區選出、立憲政友會所屬
從四位勳三等



明治五年十月甲斐國中巨摩郡百田村ニ生ル、「議會制新論」、「東眼西視錄」ノ著アリ○通信事務官、一等郵便局長、獨立第十三師團郵便部長、遞信局長、朝鮮總督府遞信局長、臺灣總督府警務局長、農商務次官ニ歷任ス、露領沿海州、歐米各國及支那ニ出張被仰付

武富濟

愛知縣第十區選出、憲政會所屬
從六位、辯護士



明治十二年四月三河國碧海郡刈谷町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○司法官試補ヲ命セラル、次テ檢事ニ任セラレ、千葉區裁判所兼千葉地方裁判所檢事、東京區裁判所兼東京地方裁判所檢事ニ補セラル、又大審院檢事事務取扱ヲ命セラル、後辭シテ辯護士業ニ從事ス

武内作平

大阪府第二區選出、憲政會所屬
勳四等、辯護士



慶應三年十月今治市ニ生ル、關西大學、法政大學、早稻田大學ニ學フ○大阪辯護士會長ニ舉ケラル、又朝日黨業株式會社其ノ他數會社ノ重役タリ、現ニ朝鮮勸業信託株式會社、東華紡績株式會社各取締役、大阪土地建物株式會社、岡山電氣軌道株式會社、株式會社大阪堂島米穀取引所、其他數會社ノ監査役タリ又勞働保險調查會委員被仰付○衆議院議員ニ當選六回

建部遯吾

新潟縣第六區選出、憲政會所屬
從三位勳三等、文學博士、農



明治四年三月越後國中蒲原郡横越村ニ生ル、東京專門學校、東京物理學校ニ學ヒ東京帝國大學文科大學卒業、後歐米ニ留學ス○東京帝國大學文科大學講師、同助教授、同教授ニ歷任シ其間東京商科大學、曹洞宗大學、早稻田大學、東京高等師範學校講師ヲ兼メ、又萬國社會學士院正員、米國政治學社會學士院會員ニ舉ケラル、世界各國ヲ歴遊ス、現ニ帝國在郷軍人會編纂部常任顧問ニシテ政學著述ニ從事ス○衆議院議員ニ當選二回

丹下茂十郎

愛知縣第五區選出、政友本黨所屬
正七位



明治十三年八月尾張國東春日井郡勝川町ニ生ル○郡書記、縣技手、縣屬、農商務省農務局事務官補、滋賀縣產業主事、同理事官ニ歷任ス

湛増庸一

岡山縣第七區選出、政友本黨所屬
正八位、農



明治十九年四月美作國久米郡倭文西村ニ生ル

第一編 現在議員ノ履歷(たノ部)

津崎尚武

鹿兒島縣第六區選出、政友本黨所屬
從六位



土屋興

東京府第十三區選出、政友本黨所屬
會社重役



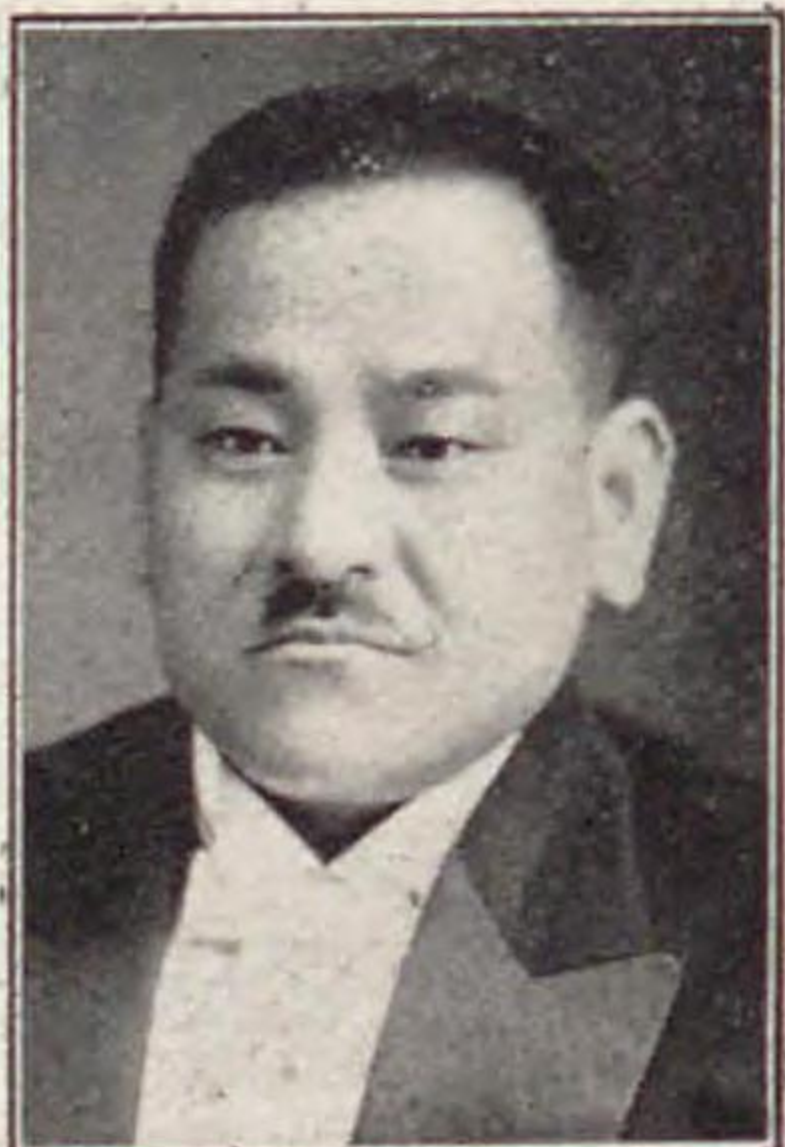
土屋清三郎

千葉縣第六區選出、立憲政友會所屬



筒井民次郎

大阪府第一區選出、政友本黨所屬



明治十五年五月大隅國肝屬郡小根占村ニ生ル、東京帝國大學法
科大學政治學科卒業○高等文官試験ニ及第シ、長野縣警視、更
級郡長、長野縣理事官、同縣視學官ニ歷任ス、後紐育土地建物
株式會社員、東亞産業株式會社、協信託株式會社各取締役ト
ナル、現ニ海外協會中央會副會長タリ、北米合衆國ヲ視察ス○衆
議院議員ニ當選二回

明治十六年二月駿河國駿東郡沼津町ニ生ル、慶應義塾大學政治
科卒業後倫敦大學政治經濟科卒業○在原郡會議員ニ選ハル、大
阪毎日新聞記者トナル、東洋加工紙株式會社、富士護謨工業株
式會社、富士川製紙株式會社各取締役、富士藥品工業株式會社監
査役タリ、現ニ大崎町會議員、關東紡績株式會社取締役、土屋
合資會社代表社員タリ○公益ノ爲私財ヲ寄附シタル廉ニ依リ紺
綬褒章ヲ授與セラル○衆議院議員ニ當選二回

明治十五年四月上總國山武郡豐岡村ニ生ル、東京慈惠醫院醫學
校及濟生學舍ニ學フ○警視廳、千葉縣各檢疫醫、岐阜縣技手ニ
任セラル、現ニ醫術開業ノ傍雜誌邦文「日本ノ醫界」英文「ジャ
パン、メヂカル、ウオールド」及支那文「東亞醫學」ヲ主宰ス○衆
議院議員ニ當選三回

明治八年十一月大阪市ニ生ル○大阪府會議員、同市部會議長ニ
舉ケラル、現ニ大阪地方裁判所管内借地借家調停委員、大阪稅
務監督局管内所得審査委員、同相續稅審査委員、同所得調査委
員タリ

堤 清 六

新潟縣第七區選出、中正俱樂部所屬
會社員



堤 康 次 郎

滋賀縣第五區選出、
會社重役



成 田 榮 信

愛媛縣第二區選出、政友本黨所屬
勳四等、通信社長



中 原 德 太 郎

東京府第九區選出、憲政會所屬
正七位勳五等、醫學博士、醫學校長



第一編 現在議員ノ履歷(なノ部)

明治四年七月京都市ニ生ル、東京帝國大學醫學部卒業後獨逸ニ
留學ス○醫術開業試験委員、日露戰役中陸軍篤志醫員タリ、又
私立樂山堂病院副院長トナル、現ニ日本醫學專門學校長、私立
中原病院長タリ○衆議院議員ニ當選二回

明治二年十一月伊豫國北宇和郡下灘村ニ生ル、關西大學、中央
大學及水産講習所卒業○生命保險事業ニ從事スルコト八年、後
諸會社並ニ新聞雜誌ノ經營ニ多年盡瘁シ明治四十年以來東京社
ヲ起シ週刊雜誌ヲ發行ス、現ニ海南新聞社長、東洋通信社長タ
リ○衆議院議員ニ當選五回

明治二十二年三月生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○箱根土地
株式會社、東京土地株式會社、株式會社高田農商銀行各取締役
タリ

明治十三年二月越後國南蒲原郡三條町ニ生ル、○多年漁業・罐
詰業ヲ營ム、又露領ニ於ケル水産業統一ノ目的ヲ以テ堤商會、
堪察加漁業、輸出食品、日魯漁業ノ四社ヲ合併シ日魯漁業株式
會社トナシ現ニ其ノ取締役會長タリ、又帝國水産會副會長、露
領水産組合評議員、工船蟹漁業水産組合、日本蟹罐詰業水産組
合各副組長、東京罐詰同業組合長、樺太合同産業會社取締役會
長、北海道製罐倉庫株式會社、朝鮮南滿鐵道會社其他數會社ノ
重役タリ、又帝國經濟會議議員被仰付

中林友信

大阪府第十區選出、政友本黨所屬
勳四等



明治四年二月生ル、明治大學卒業○泉北郡會議員、大阪府會議員、同議長ニ舉ケラル、又破産管財人、國勢調査委員、大阪盲人學校々主兼校長トナル、現ニ堺市梅鉢鐵工所顧問タリ○衆議院議員ニ當選五回

中村貞吉

新潟縣第八區選出、憲政會所屬
土木請負業



明治十年八月越後國三島郡大河津村ニ生ル○三島郡會議員、同參事會員、所得調査委員ニ舉ケラル

中村四郎兵衛

靜岡縣第二區選出、政友本黨所屬
會社員



慶應二年四月靜岡縣磐田郡井通村ニ生ル○濱松商業會議所議員濱松町會議員、同町評議委員、同建築委員、濱松市會議員、同參事會員、靜岡縣會議員、同議長ニ舉ケラル、現ニ濱松瓦斯株式會社常務取締役、靜岡縣消防聯合會常議員タリ

中村啓次郎

和歌山縣第一區選出、政友本黨所屬
勳四等



慶應三年十月和歌山市ニ生ル、東京英語學校ニ學フ、英吉利法律學校卒業、○日清ノ役占領地行政ニ從事シ、遼東還付後臺灣ニ至リ臺北辯護士會長トナル、日刊新聞臺灣民報ヲ發刊ス、又臺灣北海道及内地各地ニ於テ鑛業ヲ經營ス、七堵輕便鐵道會社社長ヲ始メ臺灣炭礦、臺灣瓦斯外數會社ノ重役トナル○衆議院議員ニ當選四回

中村 巍

和歌山縣第四區選出、立憲政友會所屬
正四位勳二等



中村 清造

福岡縣第九區選出、立憲政友會所屬
勳五等、農



中村 嘉壽

鹿兒島縣第三區選出、政友本黨所屬
實業



中野 寅吉

福島縣第七區選出、憲政會所屬
鑛山業



明治六年七月和歌山縣有田郡湯淺町ニ生ル、高等商業學校ニ學
フ、外務省留學生トナル○領事館書記生、領事官補、外交官補、
公使館三等書記官、領事、外務書記官、通商局長心得、通商局
第一課長、總領事、外務省通商局長、特命全權公使ニ歷任ス○
露國皇帝陛下ヨリ神聖アンナ二等勳章及大不列顛國皇帝陛下ヨ
リ「ブライイテイツシユ、エムパイアー」第三等勳章ヲ受ク

明治四年三月筑前國宗像郡上西鄉村ニ生ル○上西鄉村長、津屋
崎町長トナル、宗像郡會議員、同參事會員、福岡縣會議員、同
參事會員ニ舉ケラル、又全國酒造組合聯合會評議員タリ○衆議
院議員ニ當選二回

明治十三年十一月薩摩國川邊郡西南方村ニ生ル、水産講習所卒
業後米國紐育大學卒業、「マスター、オブ、アーツ」ノ學位ヲ受ク
○新聞記者タリ又外國貿易ニ從事ス、現ニ銀行重役タリ

中野正剛

福岡縣第一區選出、憲政會所屬
著述業



明治十九年二月福岡市ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業、後
歐米ニ留學ス、著書數多アリ○東京朝日新聞記者トナル、現ニ
雜誌東方時論社長兼主筆タリ、歐米ヲ視察ス○衆議院議員ニ當
選二回

中野猪之助

大分縣第五區選出、
材木商



明治五年六月豊後國日田郡三芳村ニ生ル○合資會社中村材木店
代表者タリ、現ニ久留米材木同業組合長、九州材木聯合會副會
長、久留米商業會議所議員、久留米市會議員、同參事會員ニシ
テ又日田實業銀行取締役、九州材木株式會社專務取締役タリ

中野實

佐賀縣第二區選出、憲政會所屬
會社重役



安政元年七月肥前國佐賀郡本庄村ニ生ル、○愛國生命保險會社
專務取締役兼大阪支社長トナル、又九州電氣鐵道、關西電力、
泉尾綿毛、鹿兒島電氣軌道、松尾鐵工、札幌軌道、太宰府軌道
各會社ニ重役トナル、現ニ關西電力會社顧問、土地建物會社、
佐賀瑛瑯會社ノ監査役タリ○曩ニ紺綬褒章ヲ授與セラル

中谷貞賴

高知縣第一區選出、憲政會所屬
正七位、辯護士、會社重役



明治二十年二月常陸國眞壁郡下妻町ニ生ル、東京帝國大學法科
大學卒業○廣島縣警視保安課長、警視廳警視外事課長、西神田
署長、相生署長タリ、又明治漁業株式會社其ノ他數會社ノ重役
トナル、曩ニ辯護士ヲ開業シ現ニ事務ニ從フ、又日本活動寫眞
株式會社、東亞製粉株式會社各監査役タリ

第一編 現在議員ノ履歷(なノ部)

中山 貞雄

熊本縣第五區選出、政友本黨所屬
會社員



明治二十三年一月熊本縣下益郡杉橋村ニ生ル○東京朝日新聞記者タリ、現ニ東亞拓殖株式會社專務取締役、富士鑛業株式會社、亞細亞活動寫真株式會社各取締役タリ

中島 守利

東京府第十五區選出、立憲政友會所屬
勳四等、會社員



明治十年十月武藏國南葛節郡新宿町ニ生ル○新宿郵便局長、新宿町長トナル、東京府會議員、同參事會員、同郡部會副議長、警視廳防疫評議員、府教育會議員、府農會議員ニ舉ケラル、都市計畫東京地方委員會委員被仰付、現ニ玉川水力電氣株式會社、白鴉橋株式會社各取締役タリ○衆議院議員ニ當選二回

永井 柳太郎

石川縣第一區選出、憲政會所屬



明治十四年四月金澤市ニ生ル、早稻田大學政治科卒業後英國「オックスフォード」大學ニ學ヒ「マンチェスター、カレッジ」卒業○早稻田大學教授トナル、又雜誌新日本ノ主筆タリ○衆議院議員ニ當選二回

永井 作次

宮崎縣第二區選出、政友本黨所屬
從七位、辯護士



明治四年十一月日向國北諸縣郡都城町ニ生ル、和佛法律學校卒業○判檢事登用試驗辯護士試驗ニ及第シ司法官試補、檢事ニ任セラル、又鹿兒島市會議員ニ舉ケラル、鹿兒島電氣株式會社常務取締役トナル現ニ鹿兒島商業會議所特別議員タリ○衆議院議員ニ當選二回

永田善三郎

静岡縣第八區選出、憲政會所屬
農、新聞社長



明治十八年六月遠江國周智郡久努西村ニ生ル、早稻田大學政治
經濟科ニ學フ○新聞記者、汽船會社員、鑛業會社長其ノ他數會
社ノ重役タリ、現ニ大連漢字新聞關東報社長タリ

永田新之允

山口第九區選出、中正俱樂部所屬
勳七等、出版業



明治四年四月周防國玖珂郡岩國町ニ生ル○讀賣新聞記者、同編
輯長、國民新聞記者トナル、後實業之日本社ニ入り征露戰報主
筆、實業之日本記者、同編輯長、同理事トナル、現ニ同社理事總
務部長タリ

長岡外史

山口縣第七區選出、中正俱樂部所屬
正三位勳一等功二級



安政五年五月周防國都濃郡末武北村ニ生ル、陸軍士官學校、陸
軍大學校卒業○陸軍中將ニ任セラル、陸軍士官學校教官、參謀
本部局員、陸軍省步兵課長、同軍事課長、大本營參謀次長、陸
軍省軍務局長、第十三師團長、第十六師團長タリ、現ニ特別都
市計畫委員タリ

長峰與一

宮崎縣第一區選出、政友本黨所屬
銀行重役



明治七年一月日向國宮崎郡宮崎町ニ生ル、東京帝國大學法科大
學ニ學ヒ後米國ニ留學ス○天津居留民團行政委員會議員、同會
議長ニ選ハル、又天津日本人商業會議所評議員トナル、現ニ骨
粉肥料製造販賣並倉庫業ヲ經營シ、又天津商工銀行取締役タリ
○衆議院議員ニ當選三回

武藤山治

大阪府第四區選出、實業同志會所屬
從五位、會社々長



武藤金吉

群馬縣第三區選出、立憲政友會所屬
勳四等、會社重役



慶應二年五月土野國山田郡休泊村ニ生ル、英吉利法律學校卒業
○新聞記者タルコト數年、後實業新聞ヲ發刊シ社長ト爲ル、又
帝國蠶絲株式會社專務取締役タリ、生産調査會委員、軍需評議
會評議員被仰付、現ニ大日本蠶絲會評議員、群馬縣農工銀行取
締役、山保毛織株式會社取締役社長、大日本蠶絲同業組合中央
會特別議員タリ、歐米及支那南洋ヲ漫遊ス、又列國議會同盟會
議ニ參列ス○衆議院議員ニ當選七回

武藤喜門

岐阜縣第三區選出、中正俱樂部所屬
酒造業



明治三年十月美濃國山縣郡千疋村ニ生ル、東京法學院ニ學フ○
縣會議員ニ選ハル、現ニ日本絹紬株式會社取締役、日本電力株
式會社、揖斐川電氣株式會社各監查役タリ○衆議院議員ニ當選
二回

室木彌次郎

石川縣第四區選出、憲政會所屬
正七位勳四等、辯護士



明治十五年十月能登國鹿島郡西岸村ニ生ル、京都帝國大學法科
大學法律科卒業○司法官試補、判事ニ任セラル、現ニ辯護士業
ニ從事ス、又株式會社熊本銀行取締役、株式會社能登銀行監查
役、小田製糸株式會社々長タリ○衆議院議員ニ當選二回

向井倭雄

長崎縣第七區選出、政友本黨所屬
從五位勳四等、銀行會社重役



明治五年六月豊前國下毛郡津民村ニ生ル○曩ニ官吏タリ又京都
市助役トナル、現ニ數多會社銀行ノ重役タリ○衆議院議員ニ當
選二回

村上國吉

京都府第六區選出、憲政會所屬
農



明治九年一月丹波國何鹿郡吉美村ニ生ル、大阪府立農學校卒業
○農事試驗場技手、同場長、農事巡回教師、公立農業學校教諭
ニ任セラル、又郡農會長、府農會副會長、郡畜産組合長、府農
會議員、同評議員、帝國農會議員、同評議員、町會議員、郡會
議員、同議長、府會議員、同參事會員ニ舉ケラル、現ニ何鹿郡
農會長、同郡畜産組合長、府農會議員タリ

村上紋四郎

愛媛縣第三區選出、憲政會所屬
水産業



慶應元年八月伊豫國越智郡宮窪村ニ生ル○宮窪村長ナトル、縣
會議員、同參事會員、同議長ニ舉ケラル、又今治稅務署管内所
得調査委員、同地價修正調査委員、土地收用審査委員、地方森
林會議員、愛媛縣遠海出漁團體聯合會副會長タリ、現ニ愛媛縣
水産組合組長、越智郡漁業組合聯合會會長、越智郡水産會長タリ

村山喜一郎

秋田縣第二區選出、憲政會所屬
商、林業



明治五年八月羽後國南秋田郡土崎港町ニ生ル○南秋田郡會議
員、同議長ニ舉ケラル又秋田山林會、帝國森林會各評議員ト爲
ル○衆議員議員ニ當選二回

内ヶ崎 作三郎

宮城縣第四區選出、憲政會所屬
大學教授



内田 信也

茨城縣第五區選出、立憲政友會所屬
勳三等



内野 辰次郎

福岡縣第三區選出、立憲政友會所屬
正四位勳一等功三級



浦野 謙朗

愛知縣第十一區選出、政友本黨所屬
從七位勳六等功五級、農



明治十年四月陸前國黒川郡富谷村ニ生ル、東京帝國大學文科大學英文學科卒業後英國オックスフォード、マンチェスターカレッジ卒業○雜誌「新人」記者、「六合雜誌」主筆、早稻田大學理事、「早稻田叢誌」主筆トナル、英國留學中内務省ノ囑託ニヨリ歐洲ノ社會事業ヲ視察ス又米國ホストン市ニ開ガレタル第八回世界自由宗教大會ニ於ケル日本代表者タリ、支那及滿州ヲ視察ス、現ニ早稻田大學教授、同評議員國際聯盟協會理事、廓清會理事、國際聯盟協會早稻田大學支部長タリ

明治十三年十二月常陸國行方所屬郡麻生町ニ生ル、東京高等商業學校卒業○株式會社内田造船所社長、株式會社帝國黨業社長トナル、又臨時財政經濟調查會臨時委員、戰時船舶管理局評議員被仰付、現ニ内田汽船株式會社、内田商事株式會社各社長、明治海運株式會社、東京毛布株式會社、國際汽船株式會社各相談役、日本船主協會、港灣協會、電信協會各理事タリ、海事委員會委員被仰付○曩ニ紺綬褒章ヲ授與セラレ

明治元年十一月豊前國築上郡上城井村ニ生ル、陸軍幼年學校、同士官學校、同大學校卒業○陸軍歩兵少尉ヨリ累進、中將ニ至ル、陸軍士官學校教官、獨立歩兵大隊副官、中隊長、陸軍戸山學校教官、大隊長、第十一師團參謀、陸軍大學校兵學教官、陸軍戸山學校戰術課長、近衛師團參謀長、教育總監部第一課長、歩兵第二十第四十各旅團長、第十四師團留守隊司令官、第七師團長ニ歷任ス、英、佛、露、白、伊、諸國ヲ歴遊ス

明治十五年三月三河國西加茂郡猿投村ニ生ル○陸軍歩兵少尉、陸軍歩兵中尉ニ歷任ス、日露戰役ニ從軍ス、又猿投村長トナル、現ニ猿投村會議員、愛知縣會議員、岡崎稅務署管内所得調查委員及相續稅審查委員、猿投信用販賣購買組合監事タリ

浦山 助太郎

青森縣第七區選出、中正俱樂部所屬
會社重役



生方 大吉

群馬縣第五區選出、憲政會所屬



上原 好雄

神奈川縣第五區選出、政友本黨所屬
勳八等、出版業



上埜 安太郎

富山縣第五區選出、政友本黨所屬
正五位勳三等、農



慶應元年十月生ル、明治義塾ニ於テ法律經濟學ヲ修ム○津輕鐵道株式會社員、青森縣農工銀行員、東京市街鐵道株式會社、東京鐵道株式會社各社員、桂川電力株式會社取締役トナル、現ニ吾妻川電力株式會社常務取締役、桂川電氣興業株式會社、旭電化工業株式會社、立山電力株式會社各取締役タリ

明治十五年三月上野國利根郡新治村ニ生ル○利根電氣株式會社、新治製材株式會社各社長、利根倉庫株式會社取締役タリ、又所得調査委員、營業稅調査委員タリ

明治十六年三月東京市ニ生ル、早稻田大學法律科ニ學フ○野戰鐵道提理部々員ヲ命セラル、日本電報通信社員、外交時報社々長、合資會社兵書出版社無限責任社員トナル

慶應元年十二月越中國西礪波郡西五位村ニ生ル○富山縣會議員、同副議長、同議長ニ舉ケラル、合資會社北越組社長ト爲ル、北陸公論、越中新報、北陸政報、富山新報ヲ經營ス、又東洋漁業株式會社ヲ起シ捕鯨事業ニ從事ス、司法省參事官ニ任セラル、富山地方森林會議員、生産調査會委員、道路會議々員被仰付、現ニ高岡市長タリ○衆議院議員ニ當選九回

植原悦二郎

長野縣第八區選出、革新俱樂部所屬
大學教授



植場平

大阪府第七區選出、政友本黨所屬
勳三等、農



梅田寛一

廣島縣第十三區選出、政友本黨所屬



野田俊作

千葉縣第九區選出、立憲政友會所屬



明治十年五月信濃國南安曇郡明盛村ニ生ル、北米合衆國華盛頓州立大學卒業「バツチエラー、オブ、アーツ」ノ學位ヲ受ケ後英國倫敦大學大学院ヲ卒ヘ「ドクトル、オブ、サイエンス」ノ學位ヲ受ケ同大學學士會員ニ推薦セララル○米國西北新報記者、日米商報社長、華州日本人會副會長、日英博覽會、巴奈馬太平洋萬國博覽會各事務局囑託トナル、又東京高等工業學校講師、明治大學教授、青山女子學院講師タリ、米國ヲ視察ス、現ニ立教大學教授タリ道路會議々員被仰付○衆議院議員ニ當選三回

安政二年三月讚岐國香川郡佛生山町ニ生ル○郡聯合會議員、大阪府會議員、同常置委員、同參事會員ニ舉ケラル、又大阪府警部補、高槻町長、大冠村長トナル、鐵道會議々員被仰付、現ニ高槻銀行取締役タリ○衆議院議員ニ當選八回

明治十年十一月備後國深安郡中津原村ニ生ル、日本大學法律科卒業○鞆町會議員、沼隈郡會議員、廣島縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、又廣島縣水産組合副組長、讚岐電氣軌道株式會社取締役トナル

野田卯太郎

福岡縣第七區選出、立憲政友會所屬
從三位勳一等



野村治三郎

青森縣第六區選出、政友本黨所屬
勳四等、農



明治十年十月陸奧國上北郡野邊地町ニ生ル、慶應義塾ニ學フ○
地方森林會議員、青森縣農工銀行取締役ニ選ハル、恩賜財團濟
生會評議員タリ、現ニ野邊地町農會長、野邊地蠶絲會長、野邊
地產馬畜產組合長、日本產業協會評議員タリ、又合資會社野村
銀行代表社員、株式會社上北銀行取締役頭取、野邊地電氣株式
會社取締役社長、七戸水電株式會社取締役タリ○衆議院議員ニ
當選四回

野村嘉六

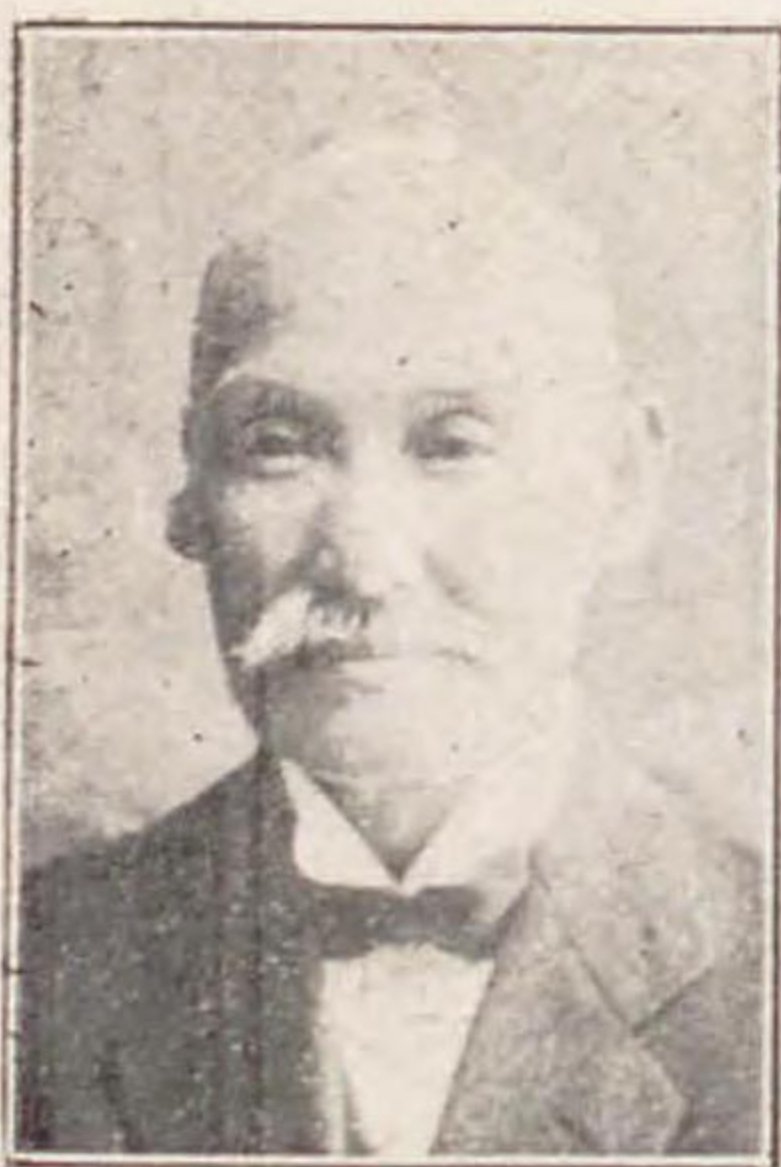
富山縣第五區選出、憲政會所屬
正七位勳四等、辯護士



明治六年八月越中國婦負郡鶴坂村ニ生ル、中央大學卒業○判事
ニ任セラル、後富山縣會議員、富山辯護士會長ニ舉ケラル、臨
時治水調査會委員、鐵道會議々員被仰付○衆議院議員ニ當選五
回

則元由庸

長崎縣第三區選出、政友本黨所屬
勳四等、辯護士



文久二年二月熊本市ニ生ル、明治大學ニ學フ○長崎市會議員、
同議長ニ舉ケラル、又九州鐵道株式會社、九州瓦斯株式會社各
取締役、長崎電燈株式會社監查役トナル、現ニ長崎日々新聞株
式會社取締役社長タリ、辯護士業ニ從事ス○衆議院議員ニ當選
五回

工藤鐵男

青森縣第一區選出、憲政會所屬
大學講師



明治八年八月弘前市ニ生ル、日本大學ニ學ヒ、後倫敦大學ニ於テ法政學ヲ學フ○二六新聞記者、日本新聞記者タリ、又海外企業組合常務委員、大正水力組合理事、濃飛電力組合常務理事、日華實業協會主事トナル、曩ニ日露ノ役ニ從軍記者トナリ又屢支那ニ旅行ス、現ニ日本大學講師、同評議員、東京齒科醫學專門學校教授、同評議員、日本聯合齒科醫師會顧問タリ、水力電氣事業ニ從事ス○中華民國ヨリ四等嘉禾章ヲ贈ラル

工藤十三雄

青森縣第二區選出、政友本黨所屬
新聞社長



明治十三年五月弘前市ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨逸法科ニ學フ○時事新報社員トナル、陸奧日報社ヲ經營ス、又東洋拓殖株式會社囑託トナル、又弘前新聞ヲ經營シ現ニ其社長タリ

畔田明

長野縣第二區選出、中正俱樂部所屬
從五位



明治十八年五月松本市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科ニ學フ○司法大臣祕書官ニ任セラル、又大禮使典儀官被仰付、支那及歐米ニ巡遊ス

黑田重兵衛

靜岡縣第十區選出、憲政會所屬
農



文久二年九月伊豆國田方郡上狩野村ニ生ル○下河津村農會長、同村會議員、同村長、賀茂郡會議員、靜岡地方森林會議員、同縣會議員ニ舉ケラル、又下田稅務署管内營業稅審查委員、靜岡農工銀行監查役トナル、現ニ下田稅務署管内所得調查委員、同相續稅審查委員、下田銀行頭取、下田自動車會社取締役タリ

黒住成章

北海道廳第十一區選出、立憲政友會所屬
辯護士



明治八年十二月備前國御津郡一宮村ニ生ル、法政大學卒業○司
法官試補ヲ命セラル、函館區會議員、同區常設委員、函館港灣
調査委員、函館市都市計畫委員、函館辯護士會長ニ舉ケラル、
現ニ破産管財人、函館市會議員、函館商業會議所特別議員タリ、
朝鮮滿州及支那南北ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選二回

栗林五朔

北海道廳第五區選出、政友本黨所屬
農



慶應二年五月越後國南蒲原郡大崎村ニ生ル○室蘭町會議員、北
海道會議員、同議長ニ舉ケラル、農牧、船舶、運送、倉庫業ヲ
經營ス○衆議院議員ニ當選二回

栗延敬太郎

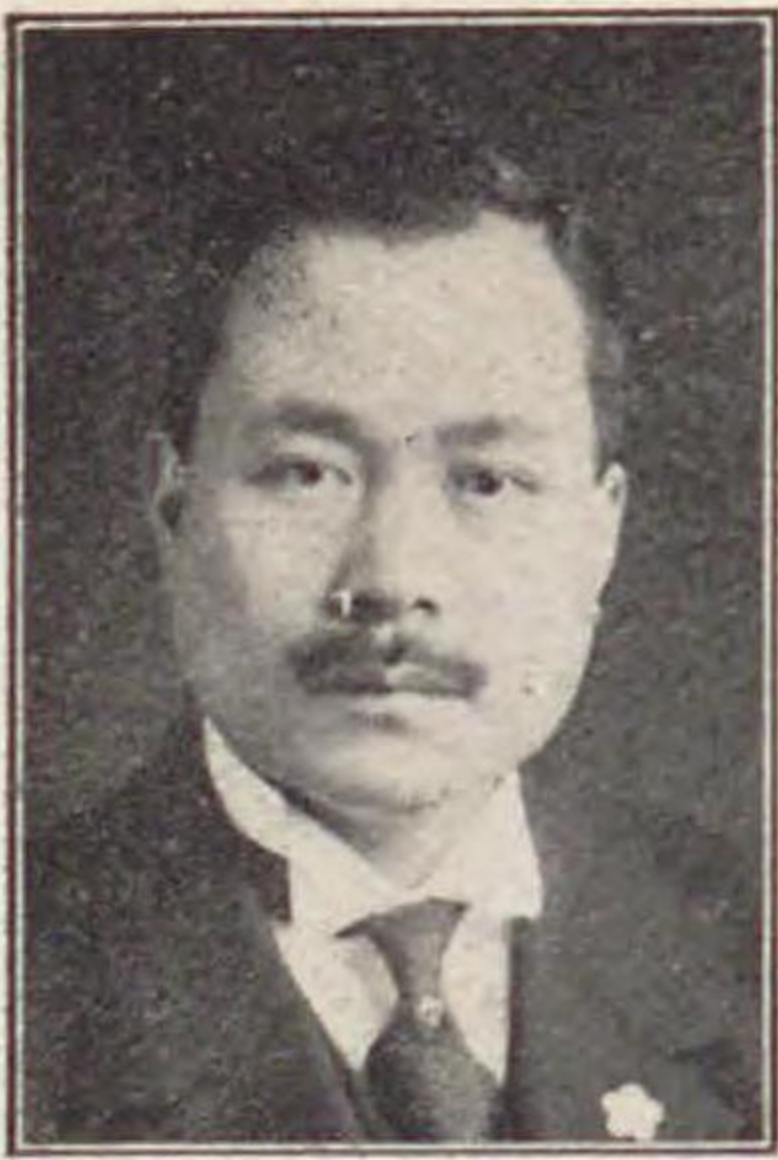
廣島縣第十二區選出、憲政會所屬
農



明治九年六月備後國蘆品郡廣谷村ニ生ル、明治大學卒業○村長、
郡會議員ニ舉ケラル、又西備織物同業組合副組長、備後水力電
氣株式會社取締役トナル、現ニ備後銀行、兩備輕便鐵道株式會
社、蘆品製糸株式會社各取締役タリ

來栖七郎

茨城縣第九區選出、立憲政友會所屬
勳八等、土木請負業



明治十六年七月下總國北相馬郡北文間村ニ生ル、私立日本法律
學校ニ學ヒ東京政治學校ヲ卒業ス○二六新報社記者、同理事、
帝國通信記者、自由通信社理事トナル、現ニ殖民協會理事長タリ

倉元要一

靜岡縣第九區選出、政友本黨所屬
從六位勳五等



明治十二年十二月筑前國宗像郡上西鄉村ニ生ル、明治大學專門部卒業○大阪府屬、滋賀縣警部、鳥取縣警部、福井縣今立郡長、同坂井郡長、同理事官、靜岡縣濱名郡長、同理事官ニ歷任ス

藏園三四郎

鹿兒島縣第四區選出、政友本黨所屬
辯護士



明治二年一月薩摩國日置郡田布施村ニ生ル、明治大學ニ學フ○神田區會議員、同議長ニ舉ケラル、現ニ薩摩製糸株式會社取締役タリ

熊谷巖

巖手縣第四區選出、立憲政友會所屬



明治十六年九月陸中國下閉伊郡宮古町ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨逸法科卒業○東京府屬、同南葛飾郡長、同荏原郡長、同理事官、佐賀縣警察部長、警察講習所教授、警視廳保安部長ニ歷任ス

熊谷直太

山形縣第五區選出、立憲政友會所屬
從六位勳四等、辯護士



慶應二年七月羽前國西田川郡鶴岡町ニ生ル、東京帝國大學法科大學法律科卒業○前橋地方裁判所判事、東京地方裁判所判事、長崎控訴院判事、東京控訴院判事ニ歷任ス、道路會議々員被仰付、歐米各國ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選四回

熊谷五右衛門

福井縣第三區選出、政友本黨所屬
勳四等、農



慶應元年六月越前國坂井郡坪江村ニ生ル○坪江村長、坂井郡會議員、福井縣會議員、同參事會員、同副議長、同議長ニ舉ケラル、又地方森林會議員ヲ命セラル、韓國漁業及清國ニ實業ヲ視察ス、日刊新聞福井日報社長トナル○衆議院議員ニ當選三回

八木逸郎

奈良縣第四區選出、政友本黨所屬
勳四等、醫師、會社員



文久三年九月奈良市ニ生ル、大阪醫學專門學校、東京醫科大學別科卒業後獨逸「ロストツク」大學ニ學ヒ「ドクター、メヂチーネ」ノ學位ヲ受ク○東京帝國大學醫科大學附屬第一醫院副手トナル、縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、現ニ日本醫師共濟生命保險相互會社專務取締役タリ、又中央統計委員會委員被仰付○衆議院議員ニ當選五回

八並武治

東京府第十二區選出、憲政會所屬
正六位勳四等、辯護士



明治十二年十二月豊前國下毛郡鶴居村ニ村ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○遞信大臣秘書官ニ任セラル、大禮使典儀官被仰付、現ニ辯護士業ニ從事ス○衆議院議員ニ當選二回

矢野鉉吉

東京府第八區選出、立憲政友會所屬
會社重役



慶應三年一月東京市ニ生ル、群馬縣立中學校卒業後米國ニ遊學スルコト十年○下谷區會議員、同議長、東京市會議員、東京府會議員、同議長ニ舉ケラル、現ニ下谷區會議長、特別都市計畫委員タリ

山田又司

新潟縣第二區選出、憲政會所屬
鑛業



明治十七年九月長岡市ニ生ル、慶應義塾大學卒業○新潟縣會議員ニ擧ケラル、現ニ長岡市會議員、同青年會長、新潟港是調査會委員ニシテ日本金鑛株式會社、會津石膏株式會社各社長タル外數多會社ノ重役タリ

山田助作

新潟縣第四區選出、憲政會所屬
農



明治十九年二月越後國西蒲原郡小吉村ニ生ル、盛岡高等農林學校卒業○新潟縣農工銀行監查役タリ、現ニ卷稅務署管内所得調査委員、西蒲原郡農會副會長、株式會社北越商業銀行取締役タリ

山田道兄

岐阜縣第六區選出、憲政會所屬
新聞通信業



明治十三年九月美濃國武儀郡東武儀村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○扶桑新聞主筆、東京毎日新聞社員、讀賣新聞社員トナル、後民友通信社ヲ創設シ現ニ其ノ社長タリ

山内範造

福岡縣第十一區選出、立憲政友會所屬
勳四等、農



慶應元年四月筑前國筑紫郡筑紫町ニ生ル○村長、郡會議員、同參事會員ニ擧ケラル、現ニ郡農會特別議員、縣農會特別議員、同評議員、帝國農會議員、同評議員、地方森林會議員ニシテ筑紫銀行頭取、住吉銀行取締役タリ○衆議院議員ニ當選三回

山口義一

大阪府第五區選出、立憲政友會所屬
農



明治二十一年一月堺市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科
卒業後、京都帝國大學大學院ニ入り社會政策ヲ研究ス○衆議院
議員ニ當選二回

山口左一

神奈川縣第六區選出、中正俱樂部所屬



明治八年六月相摸國中郡高部屋村ニ生ル、京都同志社卒業○高
部屋村收入役、同村長、中郡農會代表者、同副會長等ニ舉ケラ
レ又伊勢原電氣株式會社其他數會社重役タリ、現ニ高部屋村會
議員、産業組合中央會神奈川縣支會副會長、帝國農會議員、同
評議員、大磯稅務署管内所得調査委員、同相續稅審査委員等ノ
公職ニアリ、又株式會社神奈川縣農工銀行、相武電力株式會社
等ノ重役タリ

山口政二

埼玉縣第三區選出、中正俱樂部所屬
正七位辯護士



明治二十年八月武藏國比企郡小見野村ニ生ル、東京帝國大學法
科大學卒業○朝鮮總督府試補、同道事務官、陸軍省御用掛、青
島守備軍民政部事務官ニ歷任ス、現ニ辯護士タリ

山口恒太郎

福岡縣第八區選出、立憲政友會所屬
會社重役



明治六年二月生ル○福岡市會議員、同參事會員ニ舉ケラル、又
國民新聞記者、福岡日々新聞主筆トナル又九州電氣鐵道株式會
社、九州電氣軌道株式會社、博多灣鐵道株式會社、日本改良豆
粕株式會社各取締役、タクシー自動車株式會社長、日本電報通
信社常務取締役、朝鮮煙草株式會社、博多株式取引所各監查役
タリ○衆議院議員ニ當選二回

山 榊 儀 重

鳥取縣第三區選出、憲政會所屬



明治二十二年四月伯耆國東伯郡上灘村ニ生ル、大阪明星商業學校京都帝國大學文科哲學科選科卒業○愛知縣立第一師範學校教諭、大阪市視學、文部省囑託タリ、歐米各國ヲ視察ス

山 崎 達 之 輔

福岡縣第十三區選出、中正俱樂部所屬
正四位勳三等、農



明治十三年六月筑後國三潞郡川口村ニ生ル、京都帝國大學法學部卒業○臺灣總督府屬、臺灣總督府參事官、文部省參事官、文部書記官、文部省實業學務局長、同普通學務局長ニ歷任ス、又中央衛生會委員、臨時國語調查會委員、衆議院議員選舉法調查會委員、恩給審査會委員ヲ命セラレ

山 道 襄 一

廣島縣第八區選出、憲政會所屬



明治十五年三月安藝國加茂郡板城村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○支那西比利亞方面ニ漫遊スルコト數回又列國議會同盟會議ニ參列ス○衆議院議員ニ當選五回

山 宮 藤 吉

神奈川縣第五區選出、憲政會所屬
勳四等、農



文久二年三月相摸國高座郡茅崎町ニ生ル○鶴嶺村長、神奈川縣會議員ニ舉ケラル、株式會社江陽銀行專務取締役トナル、現ニ大日本報徳社講師、株式會社江陽銀行監査役タリ○衆議院議員ニ當選三回

山下谷次

香川縣第五區選出、立憲政友會所屬
學校長



明治五年二月讚岐國仲多度郡十鄉村ニ生ル、香川縣琴平明道覺、
京都盡誠舎卒業、後東京ニ英漢數學ヲ修ム○明治三十六年東京
商工學校ヲ創立シ爾來校長トシテ經營並教育ニ從事ス

山本芳治

大阪府第四區選出、革新俱樂部所屬
辯護士



明治十四年九月播摩國加古郡八幡村ニ生ル、東京帝國大學法科
大學卒業○司法官試補ニ任セラル、大阪地方裁判所々屬辯護士
會副會長トナル、現ニ大阪市會議員、同名譽職參事會員タリ

山本悌二郎

新潟縣第十三區選出、立憲政友會所屬
正六位勳三等、會社重役



明治三年一月佐渡國佐渡郡新町ニ生ル、獨逸、「ライプツヒ大
學ニ學ヒ「ドクトル、オフ、フイロソフトエツト、ボナールムアル
チウム、マギステル」ノ學位ヲ受ク○第二高等學校教授、日本勸
業銀行鑑定課長トナル、又諸會社重役タリ、衆議院議員選舉法
改正調査會委員、生産調査會委員、米穀委員會委員被仰付、現
ニ糖業聯合會々長ニシテ又臺灣製糖株式會社、南國産業株式會
社其ノ他數會社ノ取締役又ハ監査役タリ○製糖事業ノ功勞ニ依
リ藍綬褒章ヲ賜ハル○衆議院議員ニ當選七回

山本勝次

静岡縣第九區選出、憲政會所屬
農



明治十三年十月遠江國濱名郡白須賀町ニ生ル○濱名郡會議員、
同參事會員、静岡縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、白須賀町
長トナル、又濱名郡濱松市蠶糸同業組合副組長タリ、現ニ濱名
郡農會長、静岡縣農會特別議員、濱名郡畜産組合長、静岡縣畜
産聯合會副長、同蠶糸業同業組合聯合會評議員タリ

山本慎平

長野縣第五區選出、中正俱樂部所屬
新聞記者



明治九年一月信濃國更級郡稻荷山町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○長野新聞主筆タリ

山本糸太郎

福井縣第一區選出、立憲政友會所屬
會社重役



慶應三年十月福井市ニ生ル○日支水力株式會社其他多數會社ノ重役タリ、鐵道會議々員、社會事業調查會委員被仰付、現ニ日本火藥株式會社、日支紡織株式會社、大同肥料株式會社各社長、大同電力株式會社、京濱電力株式會社各取締役タル外各種ノ會社ニ關係シ、又不當廉賣人審査會委員、東京市政調查會評議員、日華學會理事タリ○公益ノ爲私財ヲ寄附セシ廉ニ依リ紺綬褒章ヲ下賜セラル○衆議院議員ニ當選二回

山本厚三

北海道廳第一區選出、憲政會所屬
正八位、海運、水産、農林、倉庫業



明治十四年五月信濃國下伊那郡飯田町ニ生ル、東京高等商業學校卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、小樽區會議員、同商業會議所會頭ニ選ハル、現ニ小樽市會議員、同商業會議所特別議員、小樽道路保全組合長、小樽倉庫業組合長、小樽倉庫株式會社、同信託株式會社各社長、大正製麻株式會社、北海道製綿株式會社各取締役、定山溪鐵道株式會社、北海道煉乳株式會社各監査役タリ、兩度支那ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選二回

町田忠治

秋田縣第四區選出、憲政會所屬
正五位勳三等、新聞社長



文久三年三月秋田市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業、一財政學「憲法評論」其ノ他數種ノ著書アリ○朝野新聞、報知新聞記者ト爲ル又東洋經濟新報ヲ創刊ス、日本銀行取調役、山口銀行總理事、共同火災保險會社長、猪苗代水電株式會社監査役外數會社ノ重役タリ、又曩ニ農商務省參政官ニ任セラル、兩度歐米各國ヲ漫遊ス○衆議院議員ニ當選四回

町野武馬

福島縣第二區選出、
正五位勳三等功五級、支那顧問



丸山五郎

埼玉縣第四區選出、憲政會所屬
勳八等、醫



丸山浪彌

北海道廳第十二區選出、政友本黨所屬
會社員



松井郡治

新潟縣第一區選出、憲政會所屬
正七位、辯護士



明治八年十一月若松市ニ生ル、陸軍士官學校卒業○陸軍歩兵大
佐ニ任セララル、支那政府應聘武官トナル、現ニ東三省保安總司
令、奉天省長、吉林督軍、黑龍江督軍各顧問タリ○埃洪國鐵冠
第三等勳章、清國二等雙龍寶星、支那四等文虎章、支那三等嘉
禾章ヲ贈ラル

明治五年五月武藏國北足立郡吹上村ニ生ル、東京慈惠院醫學校
卒業○南埼玉郡會議員、同議長ニ舉ケラル、現ニ南埼玉郡醫師
會長、埼玉縣醫師會議員、同理事タリ

明治四年三月長野縣南安曇郡三田村ニ生ル、明治法律學校卒業
○屢、北海道會議員、同參事會員ニ舉ケラル

明治四年一月越後國中頸城郡津有村ニ生ル、東京專門學校得業
○司法官試補、判事ニ任セララル、新潟市會議員、新潟縣會議員
ニ選ハル、又新潟辯護士會長ニ舉ケラル、現ニ同辯護士會長、新
潟市會議員、都市計畫新潟地方委員會委員タリ

松田三徳

香川縣第六區選出、憲政會所屬
從五位



明治十九年六月讃岐國三豐郡詫間村ニ生ル、慶應義塾大學卒業
○陸軍三等主計ニ任セラル、香川縣會議員ニ舉ケラル、官有財
産調査會委員、小作制度調査會委員被仰付、又臺灣總督祕書官
トナル、歐米支那ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選三回

松田源治

大分縣第七區選出、政友本黨所屬
正五位勳三等



明治八年十月豊前國宇佐郡柳ヶ浦村ニ生ル、日本大學卒業○文
官高等試験並判事檢事登用試験合格、司法官試補ヲ命セラル、又
内務省參事官ニ任セラル、生産調査會委員、衆議院議員選舉法
改正調査會委員、法律取調委員會委員、法制審議會委員、教育
行政調査會委員、港灣調査會委員、社會事業調査會委員、道路
會議々員、中央衛生會委員被仰付、歐米ヲ視察ス○衆議院議員
ニ當選六回、農ニ副議長タリ

松浦五兵衛

静岡縣第七區選出、政友本黨所屬
勳四等、農



明治三年九月遠江國小笠郡河城村ニ生ル、中央大學卒業○静岡
縣會議員、同參事會員、静岡縣農會長ニ舉ケラル、又掛川商業
銀行頭取、外數會社ノ重役ニ選ハル、臨時治水調査會委員被仰
付歐米支那及朝鮮西比利亞ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選九回

松山兼三郎

愛知縣第四區選出、中正俱樂部所屬
從七位勳五等功五級、農



明治七年十一月尾張國西春日井郡萩野村ニ生ル○萩野村長、西
春日井郡會議員、愛知縣會議員ニ舉ケラル、現ニ愛知縣農會幹
事タリ

松山常次郎

和歌山縣第三區選出、立憲政友會所屬
正八位、黃海社々長



明治十七年三月紀伊國伊都郡九度山町ニ生ル、東京帝國大學工
科大學卒業後米國ニ於テ土木工學ヲ研究ス○陸軍工兵少尉ニ任
セラル、又東京府土木課員、朝鮮川佐農場、大正水利組合ノ各
技師長タリ、現ニ黃海社ヲ創立シ開墾水利事業ニ從事ス

松實喜代太

北海道廳第七區選出、立憲政友會所屬
勳四等、農



慶應二年十一月大和國吉野郡十津川村ニ生ル、慶應義塾ニ學ヒ
又橫濱商業學校ヲ卒業ス○北海道ニ移住シ農業木材業ヲ經營ス
新十津川村長ト爲ル、四度北海道議員ニ選ハル○衆議院議員ニ
當選二回

松本眞平

埼玉縣第三區選出、立憲政友會所屬
正八位、會社員



明治十一年五月武藏國大里郡熊谷町ニ生ル、東京高等商業學校
卒業○大倉商業學校教諭トナル、陸軍三等軍吏、同二等主計ニ
歷任ス、又熊谷稅務署管内所得調査委員、同營業稅調査委員、同
相續稅審查委員、東京稅務監督局管内營業稅審查委員、在郷軍
人會大里聯合分會長ニ舉ケラル、現ニ埼玉共濟會理事、埼玉縣
商工聯合會長、營業稅審查委員ニシテ又松本米穀製粉株式會社
長ノ外數多銀行會社ノ重役タリ

松本君平

静岡縣第一區選出、革新俱樂部所屬
勳三等、著述業



明治三年五月静岡縣小笠郡中内田村ニ生ル、幼ニシテ歐米ニ遊
ヒ、米國費府大學ニテ經濟財政學專攻、ブラウン大學大學院ニ
テ文學哲學專攻文學及哲學博士ノ學位ヲ受ク、著書多シ○紐育
ツリビューン新聞記者タリ又政治雜誌「大日本」ヲ發刊シ、東京
政治學校ヲ創立ス後青年教團ヲ起ス、歐米ヲ周遊スル前後三回
支那ニ客遊スル十年○衆議院議員ニ當選四回

松本忠雄

長野縣第三區選出、憲政會所屬

一五〇



明治二十年七月長野縣上水内郡北小川村ニ生ル、東亞同文書院
卒業

前田米藏

東京府第十四區選出、立憲政友會所屬
辯護士



明治十五年二月紀伊國伊都郡高野口町ニ生ル、中央大學卒業○
馬政委員會委員、鐵道會議々員被仰付○衆議院議員ニ當選三回

前田房之助

兵庫縣第四區選出、政友本黨所屬
會社重役



明治十七年九月攝津國武庫郡大社村ニ生ル、神戸高等商業學校
卒業○武庫郡會議員 大社村長ニ舉ケラル、現ニ大阪瑛瑯株式
會社、西宮土地株式會社各取締役、攝津電氣自動車株式會社監
査役尼ヶ崎寶塚電氣鐵道株式會社長タリ

前田兼寶

鹿兒島縣第三區選出、政友本黨所屬
正五位、農



明治九年四月薩摩國川邊郡加世田町ニ生ル、東京帝國大學法科
大學卒業○警視廳屬兼警部、警視ニ任セラレ京橋、本郷本富士
各警察署長トナル又宮崎縣警察部長、宮崎縣內務部長タリ

第一編 現在議員ノ履歷(まノ部)

一五二

前野芳造

大阪府第一區選出、實業同志會所屬
運送業



慶應三年五月但馬國城崎郡豐岡町ニ生ル、東京英語學校ニ學フ
○曩ニ翻譯著述ヲ業トシ後輸出入貿易ヲ營ム、又大阪市會議員、
大阪府會議員、大阪市區改正委員會臨時委員ニ舉ケラル、現ニ
高知鐵道株式會社取締役、南海土地建物株式會社監査役タリ

牧野良三

岐阜縣第九區選出、政友本黨所屬
從五位、辯護士



明治十八年五月飛驒國大野郡高山町ニ生ル、東京帝國大學法科
大學卒業○遞信省爲替貯金局證券課長、通信副事務官、文部大臣
祕書官兼文部省參事官ニ歷任ス、現ニ辯護士事務ニ從事シ、又
京阪神青果市場聯合會顧問タリ

牧山耕藏

長崎縣第六區選出、政友本黨所屬
新聞社長



明治十五年一月壹岐國壹岐郡香椎村ニ生ル、早稻田大學大學部
政治經濟科卒業○京城居留民團議員、京城學校組合會議員ニ選
ハル、現ニ朝鮮新聞社長、東亞電報通信社長、朝鮮公論社主、
金剛山電氣鐵道株式會社重役、財團法人朝鮮鑛業會監事タリ、
又朝鮮ニ於テ鑛山ヲ經營ス○衆議院議員ニ當選三回

増田義一

新潟縣第三區選出、中正俱樂部所屬
著述出版業



明治二年十月越後國中頸城郡板倉村ニ生ル、早稻田大學卒業○
讀賣新聞記者タリ又多年「實業之日本」其ノ他數種ノ雜誌ヲ發刊
經營ス現ニ實業之日本社長タル外數多會社ノ重役ヲ兼ネ又文部
省臨時國語調查會委員、財團法人東京市政調查會監事タリ○衆
議院議員ニ當選二回

藤井忠兵衛

兵庫縣第九區選出中正俱樂部所屬
勳八等、酒造業



藤井敬慎

熊本縣第五區選出、憲政會所屬
農



藤川清助

巖手縣第二區選出、立憲政友會所屬
農



藤田胸太郎

山梨縣第五區選出、立憲政友會所屬



明治三年十二月播磨國多可郡中町ニ生ル○中村會議員、同村長、
多可郡會議員、所得調査委員、所得審査委員、兵庫縣會議員、
同參事會員、同副議長、兵庫縣地方森林會議員ニ舉ケラル、現
ニ株式會社多可銀行取締役頭取、播丹鐵道株式會社取締役タリ

元治元年十一月肥後國上益城郡御船町ニ生ル、熊本師範學校卒
業後、英學ヲ修ム○小學校訓導、同校長、郡視學、熊本私立濟
々翼外塾教員兼寮監トナル、又縣會議員、同副議長、同議長、
都市計畫地方委員會委員ニ舉ケラル

明治元年七月陸中國紫波郡見前村ニ生ル○見前村農會長、紫波
郡農會副會長、同會長、縣農會代表者、紫波郡會議員、盛岡稅
務署所轄郡部宅地貸賃價格調査委員、縣會議員、見前村長ニ舉
ケラル、現ニ見前村會議員、縣農會議員タリ

慶應三年二月甲斐國北都留郡巖村ニ生ル○上野原町長、縣會議
員、同參事會員、同議長ニ舉ケラル、北都留郡甲斐絹同業組合
長、都留電燈株式會社取締役社長トナル、現ニ都留電燈株式會
社々長、上野原町耕地整理組合長タリ

藤田包助

山口縣第五區選出、立憲政友會所屬
農



明治二年四月長門國阿武郡德佐村ニ生ル、明治法律學校卒業○
北日本興業株式會社專務取締役タリ

藤澤萬九郎

滋賀縣第六區選出、立憲政友會所屬
農兼賣藥業



慶應元年十一月近江國東淺井郡竹生村ニ生ル、長濱講習學校卒業、草場船山塾及恒藤敬吉ノ塾ニ學フ○東淺井郡會議員、同議長、滋賀縣會議員、同參事會員、同議長ニ舉ケラル又近江米取引所理事トナル、現ニ長濱稅務署管内所得調査委員、東淺井郡農會副長、滋賀縣山林會評議員タリ

藤澤幾之輔

宮城縣第三區選出、憲政會所屬
正五位勳三等、辯護士



安政六年七月仙臺市ニ生ル、法律學ヲ修ム○市會議員、同參事會員、同議長、縣會議員、同常置委員、同議長ニ舉ケラル、法律取調委員、臨時法制審議會委員、衆議院議員選舉法改正調査會委員被仰付又遞信省參政官、內務省參政官ニ任セラル○衆議院議員ニ當選十二回

降旗元太郎

長野縣第七區選出、憲政會所屬
勳三等、農



元治元年五月信濃國東筑摩郡本鄉村ニ生ル、東京專門學校卒業○長野縣會議員、同參事會員ニ選ハル、所得調査委員、蠶種同業組合組長ニ舉ケラル、商業電報、內外新報、扶桑新報其他數種ノ新聞ヲ創刊ス又信陽日報社長兼主筆トナリ現ニソノ改稱シタル信濃日報ノ社主ニシテ社長タリ、東筑農事改良會、信濃蠶業傳習所ヲ設ケ之カ社長トナリ農蠶業ヲ獎勵ス○衆議院議員ニ當選九回

古川 清

鳥根縣第六區選出、立憲政友會所屬
勳六等、商



明治八年一月隱岐國穩地郡都萬村ニ生ル、漢數學ヲ專攻シ特ニ
北京ニ於テ漢文ヲ研究スルコト四年○曩ニ三等郵便局長ヨリ屢
々支那内地、印度、南洋郡島、西比利亞ヲ視察セリ○衆議院議
員ニ當選二回

古屋 慶隆

岐阜縣第八區選出、憲政會所屬
勳四等、農



明治十二年十二月生ル、京都同志社、明治大學卒業○衆議院議
員選舉法改正調査會委員被仰付○衆議院議員ニ當選四回

深井 功

長野縣第六區選出、中正俱樂部所屬
農



明治七年八月信濃國小縣郡和村ニ生ル、東京専門學校法律科ニ
學フ○縣會議員ニ舉ケラル、又産業組合中央金庫設立委員トナ
ル、現ニ産業組合中央金庫評議員、長野縣信用組合聯合會長タ
リ

二木 洵

長野縣第七區選出立憲政友會所屬
農



明治七年十一月信濃國東筑摩郡和田村ニ生ル○村會議員、郡會
議員、同參事會員、縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、又所得
調査委員トナル、現ニ組合製糸筑摩社長、東筑摩蠶種同業組合
長、蠶糸中央會議員、縣農會議員タリ

福井甚三

奈良縣第二區選出、政友本黨所屬
會社重役



明治七年十二月奈良縣生駒郡富鄉村ニ生ル○現ニ生駒土地株式會社社長、大阪郊外住宅株式會社專務取締役、大阪現株取引株式會社、有明炭鑛株式會社各常務取締役、城南土地株式會社、日本家禽土地株式會社各取締役タリ、現ニ大和日報社其他數會社ノ重役タリ○衆議員議員ニ當選二回

福田五郎

佐賀縣第一區選出
正六位、海運業



明治十年九月佐賀市ニ生ル、京都帝國大學法科大學卒業○司法官試補ヲ命セラル、福岡地方裁判所判事、小倉區裁判所判事、熊本區裁判所檢事、同地方裁判所檢事、福岡區裁判所兼同地方裁判所檢事、仙臺區裁判所檢事、神戸區裁判所兼同地方裁判所檢事ニ歷任ス、現ニ海運業ヲ營ム

麓 純義

沖繩縣第四區選出、政友本黨所屬
勳四等、辯護士



元治元年八月大隅國大島郡笠利村ニ生ル、東京法學院卒業○現ニ那覇市長タリ○衆議院議員ニ當選四回

小泉又次郎

神奈川縣第二區選出、憲政會所屬
勳四等



慶應元年五月武藏國久良岐郡六浦莊村ニ生ル○横須賀市會議員同議長、神奈川縣會議員ニ擧ケラル、又新聞記者タリ○衆議院議員ニ當選六回

第一編 現在議員ノ履歷(ふ、こノ部)

小泉策太郎

靜岡縣第十區選出、立憲政友會所屬
勳四等、會社重役



明治五年十一月伊豆國加茂郡三濱村ニ生ル○四谷區會議員東京市會議員、東京商業會議所議員ニ選ハル、又靜岡日報記者、自由新聞記者、九州新聞社長、經濟新聞社長ト爲ル、現ニ朝鮮瓦斯電氣株式會社取締役、馬來護謨栽培株式會社、三協印刷株式會社各監查役タリ○公益ノ爲私財ヲ寄附セシ廉ヲ以テ紺綬褒章ヲ賜ハル○衆議院議員ニ當選五回

小泉辰之助

青森縣第五區選出、政友本黨所屬
農



明治八年十二月生ル、○村長、郡會議員同議長、同郡參事會員縣會議員、同副議長、同議長、同縣參事會員ニ舉ケラル

小池仁郎

北海道廳第九區選出、憲政會所屬
勳四等、水産業



慶應二年五月越後國中頸城郡岸濱村ニ生ル○根室町會議員、同學務委員、北海道會議員ニ選ハル、又根室漁業組合代議員、根室外一郡昆布營業人組合代議員、根室外二郡水産組合評議員、根室外四郡水産組合長ニ舉ケラル、又臨時治水調査會委員被仰付、支那ヲ視察ス○衆議院議員ニ當選四回

小林彌七

群馬縣第二區選出、實業同志會所屬
砂糖油商



明治二十一年十二月高崎市ニ生ル○現ニ高崎砂糖商組合頭取、群馬縣糖業聯合會々長、上州銀行、利根産業株式會社、群馬製菓株式會社、信永運輸株式會社各取締役、利根木材株式會社、森永製品關東販賣株式會社、利根産業株式會社各取締役社長タリ又高崎商業會議所議員、同常議員、高崎市農會評議員、同市産業調査委員、群馬縣糖業聯合會會長ニ選ハル

小橋藻三衛

岡山縣第三區選出、革新俱樂部所屬
勳四等農



慶應二年十二月備前國邑久郡朝日村ニ生ル、岡山師範學校卒業
○岡山縣會議員、同參事會員、同議長ニ選ハル、又株式會社七十銀行、笠岡紡績株式會社、東讚電氣軌道會社各監查役、岡山水電株式會社取締役タリ岡山縣蠶糸同業組合長、岡山縣畜産會長、岡山縣邑久郡產牛馬組合長、岡山縣運送組合長ニ舉ケラル、現ニ岡山縣邑久上道織物同業組合長タリ、○衆議院議員ニ當選
四回

小橋一太

熊本縣第四區選出、政友本黨所屬
從三位勳一等



明治三年十一月熊本市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○山口縣、長崎縣各參事官、內務書記官、內務省參事官、同衛生局長、同地方局長、同土木局長、內務次官ニ歷任ス、又內閣書記官長タリ○衆議院議員ニ當選二回

小西和

香川縣第四區選出、憲政會所屬
勳四等農、會社重役



明治六年四月讃岐國大川郡長尾町ニ生ル、札幌農學校ニ學フ「日本ノ高山植物」及「瀬戸内海論」ノ著書アリ○東京朝日新聞記者日本海洋會理事タリ又南滿洲製糖會社ノ創立ニ盡力シ取締役ニ選ハレ現ニ其職ニアリ、又亞細亞煙草株式會社、中國葉煙草株式會社、東亞拓殖工業株式會社各取締役タリ、滿韓及西比利亞ニ漫遊ス○衆議院議員ニ當選四回

小久保喜七

茨城縣第十區選出、立憲政友會所屬
正五位勳三等



慶應元年三月下總國猿島郡新鄉村ニ生ル、漢儒中島撫山ノ門ニ遊フ○茨城縣會議員、同副議長ニ舉ケラル、遞信省參事官ニ任セラル、現ニ自由通信社長タリ○衆議院議員ニ當選六回